

令和3年度

事業報告書

自 令和3年 4月 1日
至 令和4年 3月 31日

第 1 章 法人本部の活動

1 法人の概要

法 人 名 社会福祉法人やすらぎ会
 代 表 者 理事長 佐々木一
 所 在 地 岩手県和賀郡西和賀町沢内字太田2地割135番地
 認 可 年 月 日 平成9年11月4日
 認 可 番 号 岩手県指令長606号
 設立登記年月日 平成9年11月10日

2 法人の行う事業

(1) 社会福祉事業

	事業開始年月日	施設・事業種別	施設名・指定事業所名	定員
第一種 社会福祉事業	平成10年4月1日	特別養護老人ホーム	特別養護老人ホームぶなの園	50
第二種 社会福祉事業	平成6年4月1日	老人デイサービス事業	デイサービスセンターかたくりの園	30
	平成10年4月1日	老人デイサービス事業	デイサービスセンターぶなの園	10
	平成10年4月1日	老人短期入所事業	ショートステイぶなの園	10
	平成10年4月1日	老人居宅介護等事業	ホームヘルプステーションぶなの園	
	平成18年4月1日	障害者福祉サービス事業	ホームヘルプステーションぶなの園	

(2) 公益事業

	事業開始年月日	事業種別	事業所名・商号等	定員・規模
公益事業	平成6年4月1日	高齢者生活福祉センター	高齢者生活福祉センター かたくりの園	10名 7部屋
	平成12年4月1日	居宅介護支援事業	西和賀介護相談室	
	平成18年2月1日	一般乗用旅客自動車運送事業	ぶなの園営業所	

3 法人経営の概況

(1) 総括事項

令和3年度の資金収支計算書による当期資金収支差額は、△11,253,538 円と前年対比△5,956,427 円と悪化した。特に、事業活動資金収支差額においては△4,966,675 円となり経営の健全性に欠ける状況がみられる。

事業活動計算書からも、サービス活動等における当期活動増減差額が△23,356,204 円と、経営の見直しが急務となっている。

主な要因としては、サービス活動収益において利用者の減少に伴う介護報酬の減があり前年対比で7,609 千円少ない365,364 千円となった。

中でも、特養の△8,400 千円、ディぶなの△3,542 千円を合わせた△11,942 千円が大きい。

サービス活動費用からみると、全体で前年対比21,216 千円の増額となっており、主な要因として、職員採用や定年後の任用含めた処遇改善による人件費で10,518 千円の増。利用者の介護の重度化による介護用品等経費の増、コロナ感染対策による検査キットの追加購入、水

道高熱費・燃料費の高騰等により事業費で 4,000 千円の増。事務費では、給排水設備等の修繕費、業務用携帯電話の配備、冬季にかかる除雪費の増、カーテンリース等の賃借料の増による 2,053 千円の増となった。

また、低所得者にかかる利用者負担軽減費は、3,138 千円となり前年比 213 千円増額となった。この分に対する町からの助成は 1,277 千円（経費の 40%）となる。

次に、特別収支では、みまもり CUBE15 台の整備に 1,876 千円の補助金を受けている。

このことにより、当期活動増減差額は△23,356,204 円（前年対比△29,777 千円）となった。

20,000 千円の基本金の取崩しについては、本来 4 号基本金として扱うべき額を 1 号基本金に計上していたことが会計処理上不適切と判断し、理事会の承認を経て取崩を行ったところである。

以上のことから、前期繰越活動増減差額 147,318 千円と合わせた次期繰越活動増減差額は 161,962 千円（前年対比 14,643 千円増）となった。

(2) 運営の状況

運営においては、前年に続きコロナ対応に終始した 1 年となったが、サービスの質を追求しながら事業を継続するための人材の確保と定着を図るため、以下の推進目標により取り組んできたところである。

① 利用者に寄り添う

ア 職員体制においては、介護保険制度による LIFE の導入を前にして先行投資となったが、利用者の自立支援や重症化予防を目的に、理学療法士 1 名を採用し、機能訓練機器を整備しながら取組をスタートさせることができた。

イ 医療との連携については、協力医療機関の町立病院スタッフと連携により、口腔ケアや栄養管理の充実に取り組んだ。施設での看取りは 3 件と増えている。

② 快適な環境づくり

ア コロナ感染対策については、昨年に引き続きコロナ本部会議を定期 に開催し、感染対策の徹底を促し外出制限など職員の自粛を促してきた。また、職員玄関には、抗菌ゲートを設置し施設に持ち込まないよう対策を強化し、利用者・職員への感染を防ぐことができた。

イ 業務の効率化を図るため介護ロボット（みまもり CUBE）を導入し、利用者の介護事故の防止やヒヤリハット事例の分析に有効活用されている。Web 研修が増えてきている中で研修専用 PC の整備は翌年度へ繰り越すこととなった。

ウ 施設の長寿命化については、給湯バルブの破損や借用倉庫の屋根の葺き替え等予定外の修繕も嵩んだが、ルームエアコン 8 台の整備等職場環境の改善を図った。

③ 互いに支え合う

ア 法人内の連携と職員の連帯意識の強化については、十分とは言えないが毎月の経営会議、リーダー会議、職員会議、各種委員会等を通じ振り返りにより課題解決に取り組むことができています。

イ 認知症介護に係る研修には、職員 1 名が参加した。また、各部署ごとにネットを使っでの研修に取り組むことができた。

ウ 技能実習生の受入については、2 年目となり早番、遅番までの業務に携われるところまで育っている。実習生の指導をとおして介護業務の見直しをするなど改善が図られている。

④ 地域と共に

ア 地域との連携については、町内福祉施設による小中学校生徒への「介護の魅力発見出前講座」への参加や認知症キャラバンメイトとして町の事業に協力してきた。

イ 町の地域支援事業への参画については、人的体制が整わず令和5年度からと変更した。

ウ コロナ感染拡大により、夏祭りや健康を祝う集い、文化祭等施設外との接触を伴う事業は自粛し、規模を縮小した形で施設ごとに取り組むことができた。

⑤ 明日をつくる

ア 人事評価制度については、運用開始の前段階として職員の給与規程と就業規則の見直しに取り組み、理事会において承認された。

イ 経営については、国の介護職員処遇改善制度の後押しを受け職員の給料改善を図ってきたところだが、収益の減少に加え人件費の上昇が目立ち、収支バランスが崩れる兆候にあることから給与規程の見直しが必要となっている。

4 資産(土地・建物)等の状況

区 分	所在地	地目、構造及び用途	面 積		
			定 款 ㎡	登記簿㎡	
基本財産 (1)土地 (2)建物	和賀郡西和賀町沢内 字太田2地割135番地、 23番地、49番地2、109 番地5、112番地5、113 番地4、130番地、131 番地、132番地、133番 地、134番地、136番地、 142番地、143番地、180 番地、181番地、184番 地、186番地、189番地、 190番地 和賀郡西和賀町沢内 字大野17地割140番地 1	鉄筋コンクリート 造陸屋根平家建 鉄骨造垂鉛メッキ 剛板葺き2階建 鉄筋コンクリート 造陸屋根平家建		3,298.99	平成9年10月14日
				1階 194.40 2階 48.60	平成10年12月17 日
				821.48	平成6年3月14日
借地等 (1)土地	和賀郡西和賀町沢内 字太田2地割 23番、31番3、33番1、 49番2、54番4、55番3、 55番4、108番5、109番 5、110番19、112番5、 113番4、120番2、121	宅地、雑種地、畑 老人福祉施設の敷 地として使用			契約書 有 相手方 西和賀 町 借地料 無料

	番1、122番3、122番8、 124番、128番、129番1、 129番2、130番、131番、 132番、133番、134番、 135番、136番、137番、 142番、143番				
	和賀郡西和賀町沢内 字大野17地割 140番1	山林 老人福祉施設の敷 地として使用			契約書 有 相手方 西和賀 町 借地料 無料
	和賀郡西和賀町沢内 字猿橋33地割1-1	原野、職員宿舎の 敷地として使用		331.00	令和2年11月17日
	和賀郡西和賀町沢内 字猿橋33地割2-1	宅地 職員宿舎の 敷地として使用		467.31	令和2年11月17日
(2)建物	和賀郡西和賀町沢内 字猿橋33地割2-1	木造亜鉛メッキ銅 板葺 2階建		159.76	令和2年11月17日

5 役員等の状況

役職名	氏 名	職 業	理事要件	各理事と親族 等特殊関係に ある者の有無	現任期
理事長	佐々木一	施設長	施設の管理者	無	令和3年6月 18日～令和4 年度会計に関 する定時評議 員会の終結の 時まで
理 事	真壁信男	無職	社会福祉事業の経営に 関する識見を有する者	無	
理 事	近藤英三	会社役員	社会福祉事業の経営に 関する識見を有する者	無	
理 事	佐々木正裕	無職	社会福祉事業の経営に 関する識見を有する者	無	
理 事	平川縫子	無職	社会福祉事業の経営に 関する識見を有する者	無	
理 事	高橋康文	無職	社会福祉事業の経営に 関する識見を有する者	無	
監 事	高橋義雄	無職	社会福祉事業の経営に 関する識見を有する者	無	
監 事	小川賢一	無職	社会福祉事業の経営に 関する識見を有する者	無	

監 事	高橋健司	無職	社会福祉事業の経営に関する識見を有する者	無	
-----	------	----	----------------------	---	--

6 理事会の開催状況

開催年月日	出席者数 ／総数	議 題	監事出席 の有無
令和3年 6月4日	6／6	令和2年度社会福祉法人やすらぎ会予算補正の専決処分について 令和2年度社会福祉法人やすらぎ会事業報告の承認を求めることについて 令和2年度社会福祉法人やすらぎ会収入支出決算の承認を求めることについて 社会福祉法人やすらぎ会就業規則の一部を改正する規則について 包括的高齢者運動トレーニング機器の売買契約について 社会福祉法人やすらぎ会第1次補正予算について 令和3年度社会福祉法人やすらぎ会定時評議委員会開催日程について	小川賢一 高橋義雄 高橋健司
令和3年 6月18日	6／6	社会福祉法人やすらぎ会理事長の選定について 社会福祉法人やすらぎ会第2次補正予算について 特別養護老人ホームぶなの園ルームエアコン設置工事請負契約の締結について 特別養護老人ホームぶなの園給水設備工事請負契約の締結について	小川賢一 高橋義雄 高橋健司
令和3年 9月29日	6／6	社会福祉法人やすらぎ会第3次補正予算について 指定老人福祉施設「ぶなの園」運営規定の一部を改正する規程について 指定短期入所生活介護事業所「ぶなの園」運営規定並びに指定介護予防短期入所生活介護事業「ショートステイぶなの園」運営規定の一部を改正する規程について	小川賢一 高橋義雄 高橋健司
令和3年 12月23日	5／6	社会福祉法人やすらぎ会第4次補正予算について 社会福祉法人やすらぎ会就業規則の改正について 福祉人材育成基金の設置について	小川賢一 高橋義雄 高橋健司
令和4年 3月24日	6／6	社会福祉法人やすらぎ会第5次補正予算について 社会福祉法人やすらぎ会給与規程の一部改正について 社会福祉法人やすらぎ会経理規程の一部改正について 社会福祉法人やすらぎ会基本金の取扱いについて 令和4年度社会福祉法人やすらぎ会事業計画の認定について 令和4年度社会福祉法人やすらぎ会予算の認定について	高橋義雄 高橋健司

7 評議員の状況

氏 名	職 業 会社名	他の社会福祉法 人との兼務状況	現任期
坂巻潤子	障がい者施設役員	有	令和3年5月13日～令和6年度会計に 関する定時評議員会の終結の時まで
深澤久子	無職	無	
岩井貞一	無職	無	
和泉 昭	無職	無	
野中孝勇	無職	有	
石井弘光	森林組合組合長	無	
刈田哲彦	西和賀町特別職	無	

8 評議員会の開催状況

開催年月日	出席者数 ／総数	議 題	監事出席 の有無
令和3年 6月18日	6／7	社会福祉法人やすらぎ会令和2年度事業報告の承認について 社会福祉法人やすらぎ会令和2年度決算報告の承認について 社会福祉法人やすらぎ会理事の選任について 社会福祉法人やすらぎ会監事の選任について	小川賢一

9 監事監査の実施状況

監査年月 日・時間	監査実施 者名	監査結果の内容 及び指示・指摘事項	改善事項
令和3年 5月24日 9：30～ 12：20	小川賢一 高橋義雄 高橋健司	人件費が前年度より増加しているが財政計画としてどうか。	厨房が直営となったことで、委託管理費に替わり給料として人件費からの支出となったこと。もうひとつは、職員採用及び登用等による定期昇給に関わる分と外国人技能実習生2名の給与等と受け止めている。
		人件費について将来大丈夫か。	新採用や最低賃金の見直しや処遇改善により上昇してきている。来年度は年金制度の改正により負担増が想定されることから65歳定年制度も視野に入れ給料表の見直しも急務となっている。将来を見越し計画を立てていきたい。
		管理栄養士の採用についてはどうなのか。	2021年の介護報酬改定で口腔・栄養に関し、新たに評価され加算が見込まれることから、求人募集をハローワークに出しているが、現在いる栄養士が管理栄養士資格の取得に取り

		管理栄養士の採用についてはどうなのか。	組んでもらうことが理想的とは考えている。
		看護師の確保についてはどうか。	ぶなデイでは療養や高齢を理由に退職、かたくりの園では定年に達し任用職員として再雇用となっている。法人全体では引き続き有資格者の募集は継続しており随時対応していきたい。
		収支決算見込みでは、不用額が昨年の倍になっているが、支出超過に係る流用等の調整は行われたか。	経理規程では中区分内での流用は認められているので、その範囲内での調整を見込んでいたが、職員給与費での予算超過が発覚し、大区分となる事務費及び事業費における不用額からの補正を要した。 リース資産への対応について決算時の組替え予定を伝えていたが、3月末にマイクロバスの納車がありリース料が発生したことを含めた専決による予算補正を要することとなった。決算理事会において理事長の専決処分の報告として承認をいただく必要がある。 歳出超過分に関しては、法人単位では予定された予算の範囲にあるものの予備費をゼロとしたことに甘さがあったと反省している。今後歳出予算に不用額が見込める場合は3月補正までに精査し予備費に充当しておくことが必要と受け止めている。
令和3年 7月29日 9:30～ 12:00	小川賢一 高橋義雄 高橋健司	短期入所の減が、サービス活動収益の減に影響している。人事異動や人材教育の進捗状況を加味しながら介護体制を構築し受入れ計画の改善につなげたい。	
		人件費比率が上昇している。国から最低賃金の引き上げが発表された。働き方改革を推進しながら適正に処理されたい。収入が減ればその中で賄うことを長期的な視点に立ち組み立てる責	

		任がある。	
		建設から23年が経過し、設備の経年劣化が顕在化の傾向にある。今後、修繕費が嵩むと思われるが応急措置に止めず長期的立場での経費の投入を計画頂きたい。	
		ワクチン接種が進められているが、感染防止対策を継続し安心して暮らせるよう取り組み頂きたい。	
令和3年 10月29日 10：00～ 12：00	小川賢一 高橋義雄 高橋健司	リース資産の計上等経理の見直しに取組む中で、予算措置の無い勘定科目からの支出を認めた。支払資金がマイナスとなっていることから資金状況を注視しながら財務管理システムの適正な運用を図られたい。	
		入院による空床やショートステイ利用率が6割と収益の前年割れを確認。職員の効率的配置を含めた受け入れ体制等の改善を検討のこと。	
令和4年 1月31日 10：00～ 12：00	小川賢一 高橋義雄 高橋健司	備品の廃棄処分においては備品台帳からの除却含め適正に処理すること。	
		前年度対比で12月末での利用者減が大きく出ている。職員の配置人数は施設基準を上回っており前年度と大きな変化は見当たらない事から課題解決及び改善策の検討をおこなうこと。	
		12月末での人件費は賞与支給もあるが累積額でも前年度対比で増となっており人件費率が高水準になっている。	
		事務費比率が前年より低下している事は評価できるが事業費比率の低下は利用者サービスの低下にならないよう注意すること。	

		修繕に係る補正が理事会で承認されているが、情勢により未実施である旨の報告を受けた。今後も着手が見込まれない場合は財源を精査し再度補正するなど適正に対処されたい。また、補助金交付決定も金額が未定など年度末に向け精査し適正な予算執行となることを望む。	
		感染予防対策について、ワクチン接種の期待するところではあるが、施設に持ち込まないよう職員の感染防止対策の徹底を望む。	

10 一般の寄付の状況

区 分	本部経理区分受入		ぶなの園経理区分受入		かたくりの園経理区分受入	
	人 数	金 額	人 数	金 額	人 数	金 額
(うち取引業者) 業 者						
利 用 者						
利用者の家族	3	50,000	1	20,000		
そ の 他						
計	3	50,000	1	20,000		

11 高額物品の購入状況

物 品 名 包括的高齢者運動トレーニング機器購入 1 式

入札方法 随意契約（選定委員会による機種選定）

契約の相手先 北上市相去町西裏 1 番地41

株式会社 メディケアエコネット

納 品 令和 3 年 6 月 3 0 日

物 品 名 特別養護老人ホームぶなの園ルームエアコン設置工事 一式

入札方法 随意契約（見積合せによる）

契約の相手先 盛岡市盛岡駅西通り 2-1 7-1 0

株式会社 トライス

納 品 令和 3 年 7 月 1 9 日

物 品 名 特別養護老人ホームぶなの園給水設備工事 一式

入札方法 随意契約（見積合せによる）

契約の相手先 西和賀町湯田 2 0 地割 2 9-2

有限会社 湯田機械

納 品 令和3年8月5日

物 品 名 みまもりCUBUシステム 一式

入札方法 随意契約（株式会社ラムロック指定代理店）

契約の相手先 秋田県横手市姉気大堤下久保192-1

株式会社 福わらい

あったかいんどレンタル

納 品 令和4年3月29日

第2章 総務課

1 事業の総括

- (1) 法人全体の事業として、エアコン設備の設置や居室内の水道設備の交換など、利用者や職員の住環境・働く環境の改善に努めることができ良かったが、施設内の消防設備など一部の不具合が改善できず年度繰越となってしまう残念である。
- (2) 人材確保として、人員が不足している職種について求人を出すなど体制確保に努めたが、必要な人員が十分に確保できず各課の要望に応えきれなかった。また、職員の資質向上・キャリアパスによる専門性の向上を図るべく研修等への参加を試みるも、コロナ禍の影響により、中止が相次ぎ十分な成果が得られなかった
- (3) 法人の安定した運営のため、計画的な対応による財政の適正化を図るべく対応にあたったが、施設整備・修繕等で計画外の支出が多くなった事やコロナ禍による収入見込みの減額などが重なり良好とはいえない状況であった。

2 職員の状況

	正規職員	臨時職員	パート職員	計
施設長	1			1
事務員	2	2		4
機能訓練指導員	1		1	2

3 重点目標

(1) 利用者に寄り添う（人権尊重・質の高い介護）

ア 職員教育について、年度前半はコロナ禍による研修の中止や延期、更に規模の縮小などにより参加の機会が減少してしまった。また、後半はWeb研修等により、参加の機会としては増えつつあったが、法人内の研修環境が十分ではなかったことから参加を見合わせることもあった。

イ 外国人人材の育成については、年度を通じて委員会にて指導の進捗状況を共有し課題を確認しながら対応にあたる事が出来た。

ウ 外部評価の準備年度と位置づけをしていたが、準備への着手には至っていない。

エ 地域との連携について、町内の福祉関係者との交流の機会を模索していたが、残念ながらコロナ禍もあり実施には至らなかった。そんな中、町からの打診で次年度において、当施設を福祉避難所としての契約の申し出あり、地域貢献への一歩となればと考えている。

(2) 快適な環境づくり（安全・安心）

ア 施設整備計画については、財政的な余裕が見いだせなかったことから着手が遅れている。

イ 災害対策として、地域との連携を検討するも具体的な訓練としては実施できなかった。また、業務継続計画については、各課が感染症対策の一部として取り組んでおり、災害時を含めた計画策定の準備は出来たと思われる。

(3) 互いに支え合い（人材育成・チーム介護）

ア 今年度人員不足・資格不足により運営が十分な機能を発揮できていない。その中にあり職員の適正配置は混迷しており、次年度においても計画的な採用は急務であり、あらためて計画の立案の重要性を感じている。

イ 定年制度の見直しについては、規定の改正などにより徐々に進められている。

ウ 専門性の向上のための研修受講などの準備を進めるが、コロナ禍にあつての延期や中止が相次ぎ十分な成果は得られなかった。

(4) 地域と共に（共生社会）

ア 町が策定する総合計画に合わせ法人中長期計画がスタートされている。各課においても事業年度に計画が反映されている。

イ リハビリ機器の導入により、特養住民やデイ利用者の一部ではあるが機能訓練を開始している。今年度採用した理学療法士が産休に入ったことにより、縮小されているが継続出来ている。

次年度以降で地域の方々への器具の開放や使用の機会を検討しており、予防事業の形で実施できるように検討を進めていく。

ウ 法人の情報発信として、広報の発行や日々の動きをお知らせするホームページなど、コロナ化で家族との面会がままならない状況にもあり、ホームページで近況をお知らせすることが出来ている

(5) 明日をつくる（社会参加と健全経営）

ア 職員に対して、就業規則や給与規定の変更について説明する機会を設け理解を深める対応を実施した。

イ 財務の適正管理を心掛けているが歳入が減少するなどバランスを確保するのに苦慮している。今後は、L I F E 導入による加算を見込み財政計画の策定にあたりたい。

4 年間施設管理計画の実施状況

4月13日 タイヤ交換作業

4月18日 厨房機器 ガス警報器不具合対応

4月19日 かたくりバス業者引渡し

4月27日 フェンス取付作業、雪囲い撤去作業

5月11日 石畳パーテーション設置工事 完了

5月12日 業務用洗濯機及び乾燥機保守点検

5月13日 猿橋宿舎 雪囲い外し作業

5月19日 自動販売機移動

5月20日 厨房排水トラップ修理

5月20日 自動販売機移動完了

5月27日 機械設備保守点検 ろ過機配管洗浄 水質検査検体採取

6月3日 車両整備 ハイエースステップ修理

6月6日 環境整備 家族会・職員除草作業

6月8日 環境整備 除草作業

6月10日 大風呂ろ過機修理

6月14日 施設建物停電対応 電気設備確認

6月15日 交流スペースリハビリ用電源工事

6月16日 交流スペースリハビリ用電源工事完了

6月18日 厨房排水トラップ修理

6月25日 ぶなの園・かたくりの園厨房害虫駆除作業理

6月30日 リハビリ機器搬入
7月8日 施設内クーラー設置現場確認
7月9日 機械設備保守点検 真空ヒーター・ポンプ類・空調設備
7月9日 業務用パソコン増設
7月9日 厨房殺菌灯交換
7月12日 施設内クーラー設置工事開始
7月13日 居室水栓機器交換工事開始
7月13日 厨房機器スチームコンベクション不具合発生
7月14日 特殊浴槽保守点検
7月14日 厨房機器保守点検
7月15日 厨房機器スチームコンベクション不具合修理
7月15日 居室水栓機器交換工事完了（一部部品待ち）
7月15日 シャワーキャリー修理
7月16日 業務用洗濯機保守点検
7月16日 厨房機器スチームコンベクション不具合代替機設置
7月19日 施設内クーラー設置工事完了
7月20日 消防設備不具合箇所確認
7月24日 環境整備 除草作業
7月26日 機械設備保守点検 貯水槽清掃
7月29日 消防設備保守点検
7月30日 消防設備放送設備不具合確認
8月3日 環境整備 除草作業
8月5日 居室水栓機器交換工事完了
8月5日 機械設備給湯ポンプパイプ不具合修理
8月11日 居室ミニライト修理
8月18日 浴室シャワー修理
8月20日 厨房エアコンクリーニング
8月22日 環境整備 除草作業
8月25日 電子錠不具合確認
8月30日 宿直室冷蔵庫交換
9月18日 トイレ換気扇修理
9月24日 浴室、トイレ蛇口修理
9月30日 機械設備給湯ポンプバルブ破裂応急処置
9月30日 粗大ごみ搬出
10月15日 環境整備 建物窓ガラス洗浄
10月19日 機械設備保守点検地下タンク清掃
10月22日 機械設備給湯ポンプバルブ交換修理
11月8日 タイヤ交換作業、雪囲い設置作業、フェンス取付作業、屋上清掃
11月18日 猿橋宿舎 雪囲い作業
12月14日 機械設備給湯ポンプバルブ水漏れ修理
1月7日 消防設備保守点検

1月18日 機械設備排煙計故障
 1月25日 厨房洗浄機保守点検
 2月9日 厨房冷蔵庫保守点検
 2月9日 施設建物雪下ろし作業
 2月10日 施設建物雪下ろし作業
 2月17日 借用倉庫屋根雪下ろし作業
 3月1日 機械設備保守点検 ばい煙測定
 3月3日 抗菌Qゲート設置
 3月14日 在宅用コピー機入替
 3月29日 みまもりキューブ設置

5 職員研修の状況

開催日	研修内容	主催者	開催地	開催期間	参加者
4/11	診療報酬及び介護報酬の運用に関する研修会	岩手県栄養士会	アイーナ	半日	真美
4/14	内部学習会（スチコン講習会）	特養ぶな	地域交流の場	2時間	特養 6名
5/20	人事考課研修	社会福祉事業団	岩手県高校教育会館	1日	真美
6/1・6/7	内部学習会（ケアマネジメント学習会）	特養ぶな	地域交流の場	各1時間	特養 36名
6/2	リスクマネジメント研修	社会福祉事業団	岩手県高校教育会館	1日	まい子
6/8～9	技能実習生向けの認定職業訓練	北日本人材	北日本医療福祉専門学校	2日	アンハノミン
6/11	内部学習会（スチコン研修会）	特養ぶな	厨房内	2時間	調理員 6名
6/15	町自立支援ケアマネジメント研修会	西和賀町	オンライン	半日	在宅5名 所長
6/18	内部学習会（虐待防止）	特養ぶな	食堂	1時間	特養 16名
6/23	内部学習会（吸痰委員会）	特養ぶな	食堂	30分	特養 16名
7/4	日本語能力試験	日本国際教育支援協会	県立大学	1日	アンハノミン
7/6	介護実習生視察訪問	特養ぶな	光寿苑	75分	真希 温美 正弘
7/12	介護事業者支援セミナー	介護労働安定センター	アイーナ	1日	篤
7/12・7/19	新型コロナウイルス感染症研修会	県社協	Web学習会	1時間	在宅 12名
7/14	ぶなの園消防設備学習会	やすらぎ会	施設内	1時間	特養・在宅 11名

7/27	研修報告会(リスクマネジメント研修【基礎編】)	特養ぶな	地域交流の場	70分	特養 15名
8/4	安全運転管理者等講習会	岩手県公安委員会	さくらホール	1日	宏明
8/20	内部学習会(口腔衛生)	特養ぶな	地域交流の場	1時間	特養 20名
9/14	外国人技能実習制度における養成講習(監理責任者等)	ウェルネット	県民会館	1日	篤
9/15	外国人技能実習制度における養成講習(技能実習責任者)	ウェルネット	県民会館	1日	香苗
9/17	外国人技能実習制度における養成講習(生活指導員)	ウェルネット	県民会館	1日	真希
10/2～3	社会福祉士実習指導者講習会	県立大	Zoomミーティング	2日	直人
10/5～6	岩手県認知症対応型サービス事業管理者研修	いきいき支援財団	盛岡市勤労福祉会館	2日	紀子
10/6	社会福祉法人役員研修	県立大	アイーナ	1日	施設長
10/7	メンタルヘルス研修【管理者編】	社会福祉事業団	アイーナ	1日	直人
10/13	食品科学的検証に基づく誤嚥予防と活用方法	アボットジャパン	We b 配信	70分	デイ
10/18	県南ブロック高齢協研修委員会	県南ブロック高齢協	いしどりや荘	半日	真美
10/22	やすらぎ会 事例研究発表会	やすらぎ会	地域交流の場	2時間	法人 41名
10/25～27	同行援護従事者養成研修(一般課程)	北上市	北上市総合福祉センター	3日	典子
10/29	OJT研修 ～職場で取り組む人材育成～	社会福祉事業団	アイーナ	1日	温美
10/29	岩手県地域包括ケア研修会(多職種連携)	いきいき支援財団	県高齢者総合支援センター	半日	宏明
11/4	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程(初任者編)	社会福祉事業団	アイーナ	2日	勉
11/11	やすらぎ会リスク管理研修会	やすらぎ会	地域交流の場	2時間半	法人 39名
11/12	ケアマネ支援センター相談事例の内容紹介研修	ケアマネ支援センター	北上市総合福祉センター	半日	宏明
11/16	福祉用具・住宅改修研修	いきいき支援財団	県水産会館	半日	瞳
11/17	看護協会北上支部研修会(認知症患者のアセスメント)	看護協会北上支部	さわうち病院	18:30～	あさみ

11/18	内部学習会（ポジショニング・クッションの使い方）	特養ぶな	地域交流の場	1 時間	特養 15名
11/29	内部学習会（痰の吸引等安全対策に関するマニュアル）	特養ぶな	食堂	3 0 分	特養 12名
12/2	安全運転管理者等講習会	岩手県公安委員会	さくらホール	1 日	利幸
12/3	介護保険サービス提供事業所等に係る集団指導会	西和賀町	西和賀役場	1時間半	事業所 各5名
12/5	日本語能力試験	日本国際教育支援協会	県立大	半日	アンハ
12/7	スマートケア・スキンケア学習会	さわうち病院	さわうち病院	1 時間	あさみ
12/7	内部学習会（個々に沿った移乗）	特養ぶな	特養居室1-6	1 時間	特養 19名
12/10	救急救命講習会（心肺蘇生法）	やすらぎ会	西和賀消防署	1時間半	法人 19名
12/20～22 1/11・13・14	さわうち病院 看護実習	やすらぎ会	さわうち病院	6 日	あさみ
12/21	内部学習会（高齢者虐待防止対応マニュアルの説明）	特養ぶな	食堂	3 0 分	特養 14名
12/23	役員合同経営状況報告会	やすらぎ会	地域交流の場	7 0 分	法人 22名
12/28	内部学習会（嘔吐物処理ロールプレイ）	特養ぶな	食堂	3 0 分	特養 13名
1/17・1/18	ファシリテーション研修	県立大	オンライン（相談室）	2 日	真希
2/1	地域福祉推進トップセミナー	県社協 経営経	ふれあいランド	1 日	施設長 篤
3/17	岩手県リハビリテーション専門職等連携研修	いきいき支援財団	オンライン	半日	渚

※社会福祉事業団（岩手県社会福祉事業団）、県社協（岩手県社会福祉協議会）、経営協（社会福祉法人経営者協議会）

北上ケアマネ連絡会（北上地区ケアマネジャー連絡協議会）、県介護支援専門員協会（岩手県介護支援専門員協会）

包括支援センター（西和賀町地域包括支援センター）、県南ブロック経営協（県南ブロック社会福祉法人経営者協議会）

いわてリハビリセンター（いわてリハビリテーションセンター）

6 会議の状況

(1) 経営会議

開催日	議 題
4/1	・ 令和3年度経営会議の方向性について ・ 令和3年度4月事業、行事確認について ・ 令和2年度2月実績による収支状況及び経営状況について ・ 新型コロナワクチン接種対応について
4/30	・ 令和3年度5月事業、行事確認について ・ 令和2年度3月実績による収支状況及び経営状況について ・ 新型コロナワクチン接種対応について ・ 令和2年度事業報告について
6/1	・ 令和3年度年4月実績による収支状況及び経営状況について ・ 決算理事会の対応について ・ 新型コロナワクチン接種対応について ・ 令和3年度法人事業、行事について
7/1	・ 令和3年度7月行事・事業予定について ・ 令和3年度5月実績による収支状況及び経営状況について ・ 新型コロナワクチン接種対応について
7/26	・ 令和3年度8月行事・事業予定について ・ 令和3年度6月実績による収支状況及び経営状況について ・ 令和3年度第1四半期収支状況及び経営状況について ・ 第1四半期内部監査について ・ 新型コロナウイルス関連対応について
8/26	・ 令和3年度9月行事・事業予定について ・ 令和3年度7月実績による収支状況及び経営状況について ・ 新型コロナウイルス関連対応について ・ 理事会開催について ・ 補正予算について ・ 人員配置について
9/27	・ 令和3年度10月行事、事業予定について ・ 令和3年度8月実績による収支状況及び経営状況について ・ 新型コロナウイルス関連対応について ・ 理事会開催について ・ 補正予算について ・ 人員配置について
10/26	・ 令和3年度11月行事、事業予定について ・ 令和3年度9月実績による収支状況及び経営状況について ・ 令和3年度第2四半期収支状況及び経営状況について ・ 新型コロナウイルス関連対応について ・ マニュアルの制定について ・ 人員配置について

11/26	・令和3年度12月行事・事業予定について ・令和3年度10月実績による収支状況及び経営状況について ・新型コロナウイルス関連対応について ・特別養護老人ホームぶなの園実地指導の結果について ・就業規則改正について
12/17	・理事会議案検討 第4次補正予算について ・理事会議案検討 規則改正について ・役員事業報告会 報告内容について ・新型コロナウイルス関連対応について
12/27	・令和3年度1月事業・行事予定について ・令和3年度11月実績による収支状況及び経営状況について ・新型コロナウイルス関連対応について ・令和4年度予算方針について
1/14	・理事長新年の方針について ・令和4年度予算方針について ・新型コロナウイルス関連について
1/27	・令和3年度2月事業・行事予定について ・令和3年度12月実績による収支状況及び経営状況について ・令和3年度第3四半期収支状況及び経営状況について ・新型コロナウイルス関連対応について ・業務継続計画について ・給与規程の改正について
2/28	・令和3年度3月事業、行事予定について ・令和3年度1月実績による収支状況及び経営状況について ・新型コロナウイルス関連対応について ・第4年度事業計画について
3/22	・処遇改善支援補助金の取り扱いについて ・令和3年度第5次補正予算について ・令和4年度事業計画について ・令和4年度資金収支予算について
3/28	・令和4年度年間行事、事業予定について ・令和3年度2月実績による収支状況及び経営状況について ・新型コロナウイルス関連対応について（新型コロナ対策本部会議） ・全職員会議について ・L I F E 対応について

(2) 総務課会議

開催日	議 題
4/2	・令和3年度年間予定の確認について ・令和3年度総務課業務分掌について ・令和3年度担当委員について ・令和3年度実施事業の確認について ・令和2年度事業報告（総括の依頼）について

5/10	・ 令和2年度事業報告について	・ 令和2年度決算について
7/2	・ 令和2年度決算報告について ・ 新人職員の教育体制について	・ 令和2年度事業報告について ・ 夏祭りについて
8/3	・ 令和2年度事業報告について ・ 新人職員の教育体制について ・ 令和3年度退職者の対応及び令和4年度求人について	・ 夏祭りについて
9/2	・ 令和3年度退職者の対応及び令和4年度求人について ・ 新人職員の教育体制について ・ ストレスチェックについて	・ 下期物品購入について
10/4	・ 10月行事の確認について ・ 下期物品購入について	・ 事業計画の上期反省について ・ 事例研究発表について
11/2	・ 11月行事の確認について ・ 事例研究発表評価反省について	・ 事業計画の上期反省について ・ 実地指導対応について
12/3	・ 12月行事の確認について ・ 理事会対応について ・ L I F Eシステムの運用について	・ 実地指導対応について ・ 年末年始の対応について
1/5	・ 1月行事の確認について ・ 次年度購入物品の対応について	・ 予算編成対応について ・ 内部監査対応について
2/2	・ 2月行事の確認について ・ 総務課業務の確認について	・ 令和4年度予算編成対応について ・ 令和4年度事業計画について
3/4	・ 3月行事の確認について ・ 令和4年度事業計画について	・ 令和4年度予算編成対応について

(3) 新型コロナ対策本部会議

開催日	議 題
4/12	・ 感染症対応について
9/6	・ 感染症対応について
9/27	・ 感染症対応について
10/5	・ 感染症対応について
10/26	・ 感染症対応について
11/8	・ 感染症対応について
11/26	・ 感染症対応について
12/17	・ 感染症対応について
12/27	・ 感染症対応について
1/11	・ 感染症対応について
1/27	・ 感染症対応について
1/31	・ 感染症対応について
2/15	・ 感染症対応について
2/28	・ 感染症対応について
3/2	・ 感染症対応について

3/14	・感染症対応について
3/28	・感染症対応について

7 職員の定期健康診断の実施状況

期 日	実施人員	実施職種	検査項目	検査結果	検査機関
5/12 6/3	84人	全職種	体重・視力・血圧 尿・血液・体脂肪 聴力・心電図 胸部X線	A判定 10名 B判定 35名 C判定 39名	予防医学協会
12/2	16人	夜勤者	体重・視力・血圧 尿・血液・体脂肪 聴力	A判定 1名 B判定 13名 C判定 2名	予防医学協会

8 ストレスチェック

職員のメンタルヘルス不調を未然に防止することを目的として実施する。

実施者は産業医とし、実施事務従事者を総務課職員が務める。

- (1) ストレス調査、結果分析 9月～10月 58名実施
- (2) 職員への通知、面接指導奨励 11月
- (3) 労働基準監督署への報告 12月

9 感染症対策

インフルエンザ予防接種 令和3年11月～令和4年1月 92名実施

新型コロナウイルス感染症対策本部会議開催

10 全体行事の実施状況

令和3年度開催を予定していた全体行事は、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い検討を重ねた結果、全体での開催を断念し事業所ごとでの開催とした。

第3章 施設福祉課

○特別養護老人ホームぶなの園（指定介護老人福祉施設）定員52名

○ショートステイぶなの園（指定短期入所生活介護）定員8名

ショートステイぶなの園（指定介護予防短期入所生活介護）含む

1 事業の総括

特別養護老人ホームとショートステイを合わせた利用目標の稼働率が96.7%に対して、94.3%と目標達成には至っていない。前年度と比べて職員数の減少による配置問題や夜勤者不足及び実習生の教育と新人職員指導などの課題もあり、ショートステイの受入を制限したことで利用率が低下し、収入が前年度割れとなった。改善対策として、技能実習生2名の育成状況をみながら配置できるポジションを広げていくように指導することができた。また、男性介護職員2名の採用に伴い、現場で活躍できるよう指導することでショートステイの利用者増を目指している。

2 重点目標

(1) 利用者に寄り添う（人権尊重・質の高い介護）

ア 各委員会にて介護の質の向上を目指し、マニュアルの見直しを行い、現状に即した内容にすることで統一した支援内容で業務を進めることができた。

イ 口腔衛生管理委員による栄養マネジメントの強化を図るため、さわうち病院の歯科医師の指導や助言により口腔摂取維持を目指し取り組むことができた。また、食形態を増やすなど食事への楽しみにつなげることができた。

ウ 3名の看取りケアについて、さわうち病院との連携により2名の皮下点滴と食事内容の見直しや居室等の環境改善を実施してきた。更にご家族とのかかわりを重視することで最期まで安心して暮らして頂けるよう努めてきた。

(2) 快適な環境づくり（安全・安心）

ア 感染予防対策として、新型コロナ等の感染状況及びワクチン接種者の把握に努めるとともに、標準予防策の徹底を図るために職員による内部研修を年2回実施することができた。

イ 協力病院との連携強化を図るため、さわうち病院にて院長参加のもと連携会議を開催している。利用者の採血検査を誕生日ごとに実施していくことで円滑な健康管理に努めた。また、国庫補助事業を活用し、見守りカメラを15台導入出来たことで事故原因の分析につなげる体制ができた。

ウ 理学療法士による利用者の個別リハビリを行うことで機能維持を目指すことができた。また、リハビリ機器を使うことで職員の健康意識を高めることができた。

(3) 互いに支え合い（チーム介護・モチベーション・人材育成）

ア 働きやすい職場を目指し、システムからの情報発信及び業務開始前の申し送りにて細かい情報を共有することで職種間の連携を強化することができた。更に、職員間の連携が図れるようインカムの導入に向けて6月に試しているが、居室内では通信が届かないところもあり複数の中継器設置などの課題もあり導入に至っていない。

イ 介護技能実習生受け入れに伴い、日本語能力検定N3と介護技能実習評価試験に向けて各職員のチーム力により、介護の知識や技術指導に取り組むことができた。また、コロナ

過で研修の機会がないことからウェブ研修の環境づくりを進めてきた。

(4) 地域と共に（共生社会・地域貢献）

ア 地域公益活動として、利用者の入退院による送迎の負担軽減を行う事としていたが、要望なく未実施である。また、家族会活動はコロナの関係で中止してきたが、6月には感染対策を行いながら花植えを実施できた。ご家族が面会できないことから、全員ではないがLINE（ライン）での情報提供ができた。

イ 理容ボランティア2名は健康管理をしていただきながら、住民の整髪に協力をいただく事ができた。その他、行事等による地域との交流ができないことから、各保育所へのクリスマスプレゼントの配布や、保育所から借用したDVDで子供たちの活動の様子を鑑賞するなど継続した交流を図れるように努めた。

(5) 明日をつくる（コンプライアンス・健全経営）

ア 目標稼働率を職員が意識できるように、会議等で利用状況を毎月確認することができた。特養では5日以内の入所と早期発見、早期治療、早期退院を目指し取り組んできた結果、1日の目標人数48.3人に対して48.3人と目標達成できた。しかし、ショートステイは、1日の目標利用人数9.7人に対し、利用者受入れ制限の他にも、施設入所や入院等などで1日6.5人と目標達成には至っていない。

イ 課内の情報供給の伝達方法を改善するため、主任及び副主任の双方で再確認できる体制を整えることができた。また、介護ではフィードバックへの参加などで情報の共有を図ることができた。

3 職員の状況

（令和4年3月31日現在）

		施設長	事務員	生活相談員	介護職員	看護職員	介護支援専門員	理学療法士	機能訓練指導員	栄養士	調理員	その他	計
年度当初	正規	1	2	1	12	2	1			1	1		21
	臨時		1		7						5		13
	パート		1		8	1					1	4	15
	任用				2								2
年度中	採用				2			1	1				4
	異動増												
	異動減												
	退職				1								1
年度末	正規	1	2	1	12	2	1	1		1	1		22
	臨時		1		9						5		15
	パート		1		7	1			1		1	4	15
	任用				2								2

4 入所者利用者の状況

	施設入所者				短期利用者			
	延利用者数	延利用日数	営業日	平均入所者数	延利用者数	延利用日数	営業日	平均利用人数
4月	50	1,435	30		13	157	30	
5月	50	1,521	31		20	180	31	
6月	50	1,457	30		19	167	30	
7月	50	1,531	31		18	177	31	
8月	50	1,487	31		20	216	31	
9月	48	1,427	30		20	192	30	
10月	52	1,485	31		22	194	31	
11月	50	1,479	30		27	180	30	
12月	50	1,520	31		23	206	31	
1月	51	1,498	31		23	203	31	
2月	50	1,316	28		26	215	28	
3月	50	1,476	31		27	240	31	
合計	601	17,632	365	48.3	258	2,327	365	6.4
前年度	604	17,562	365	48.1	325	3,176	365	8.7

5 要介護認定状況

(令和4年3月31日現在)

区分 性別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均 介護度
男			3		7	10	4.4
女			8	11	20	39	4.3
計			11	11	27	49	4.4

6 入退所の状況

	実 人 数	入所者数(左の内訳)			新規入所者				退所者			
		町 内	町 外	県 外	在 宅	病 院	他 施 設	計	長期 入院	他 施 設	死 亡	計
4月	50	47	2	1			1	1			1	1
5月	50	47	2	1								
6月	50	47	2	1								
7月	50	47	2	1								
8月	50	47	2	1							1	1
9月	48	45	2	1	1		1	2	2		1	3
10月	52	49	2	1	2		1	3			3	3
11月	50	47	2	1	2			2				
12月	50	47	2	1								
1月	51	48	2	1	1			1			1	1
2月	50	47	2	1							1	1

3月	50	47	2	1	1			1			1	1
合計	601	565	24	12	7		3	10	2		9	11
前年度	604	578	14	12	6		2	8	2		7	9

7 退所者の状況

性別	年齢	自治体	退所の理由	退所日	利用年数
女性	89歳	西和賀町	死亡	令和3年04月16日	1年7ヶ月
女性	89歳	西和賀町	入院治療	令和3年08月31日	4年4ヶ月
女性	91歳	西和賀町	入院治療	令和3年09月14日	12年0ヶ月
女性	93歳	西和賀町	入院治療	令和3年09月29日	1年11ヶ月
女性	88歳	西和賀町	死亡	令和3年09月29日	11年0ヶ月
女性	92歳	西和賀町	死亡	令和3年10月08日	5年4ヶ月
女性	82歳	西和賀町	死亡（看取り）	令和3年10月23日	8年8ヶ月
女性	92歳	西和賀町	死亡	令和3年10月31日	6年0ヶ月
女性	97歳	西和賀町	死亡（看取り）	令和4年01月23日	4年6ヶ月
女性	93歳	西和賀町	死亡（看取り）	令和4年02月24日	1年9ヶ月
女性	95歳	西和賀町	死亡	令和4年03月30日	9年4ヶ月

8 年齢構成の状況

（令和4年3月31日現在）

	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70～ 74歳	75歳 以上	計	最高 年齢	最低 年齢	平均 年齢
男				3	1	6	10	96歳	68歳	82歳
女				2	2	35	39	103歳	66歳	88歳
合計				5	3	41	49	99歳	65歳	87歳

9 在所期間の状況

（令和4年3月31日現在）

	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	計	平均在所 期 間
男		3	3	2	2		10	5年4ヶ月
女	12	5	5	12	3	2	39	4年8ヶ月
合計	12	8	8	14	5	2	49	5年0ヶ月

10 食事の状況

（令和4年3月31日現在）

	自 立		一部介助		全部介助			合計
	食堂	居室	食堂	居室	食堂	居 室 経管栄養	居 室 I V H	
男性	3		1		4	2		10
女性	21		8		6	4		39
合計	24		9		10	6		49

自 立：自分で食事ができる

一部介助：スプーン等を使用し一部介助すれば食事ができる。

全部介助：自分で全くできないのですべて介助しなければならない。

11 入浴の状況

(令和4年3月31日現在)

	自立	一部介助			全部介助			合計
		一般浴槽	機械浴槽	一人浴槽	一般浴槽	機械浴槽	一人浴槽	
男性		2		1		6	1	10
女性		4		4		5	26	39
合計		6		5		11	27	49

自立：自分で入浴でき洗える。

一部介助：自分で入浴できるが、洗うときや浴槽の出入りに介助を要する。

全部介助：自分で全くできないのですべて介助しなければならない。

12 排泄の状況

(令和4年3月31日現在)

	自立	一部介助			全部介助			合計
		日中のみ	常時	夜間のみ	常時	夜間のみ	バルン	
男性		1	2		5		2	10
女性		7	13		19			39
合計		8	15		24		2	49

自立：自分で昼夜とも便所又は簡易便器を使ってできる。

一部介助：介助があれば簡易便器でできる。

全部介助：自分で全くできないのですべて介助しなければならない。

13 排泄に係る状況

(令和4年3月31日現在)

		対象人員	回数	定 時	随 時
おむつ	常 時	28人	4回	3時、10時、15時、20時	○
トイレ誘導	常 時	19人	6～10回		○
体位交換	褥瘡者	3人	12回	1日平均して夜間は3時間ごと	○
	その他	32人	8回	1日平均して夜間は3時間ごと	○

14 医療行為等の状況

(令和4年3月31日現在)

	胃ろう	吸痰	ターミナル
男性	2名	5名	
女性	5名	2名	1名

15 待機者の状況

(令和4年3月31日現在)

	待機者		
		うち町内	うち町外
男性	12名	11名	1名
女性	33名	32名	1名

16 施設外外来受診状況

通院医療機関名	受診科目	延通院者数
西和賀さわうち病院	歯科	26人
	内科	39人
	外科	4人
	眼科	7人
	循環器	1人
	泌尿器	3人
	定期カテーテル交換（膀胱/経管）	27人
盛岡市立病院	神経精神科	4人
心のクリニック	神経内科	4人
県立中部病院	皮膚科	2人
花北病院	精神科(処方箋のみも対象)	12人
岩手医科大学付属病院	呼吸器内科	2人
県立中央病院	皮膚科	1人

17 入院の状況

	入院者延べ数	入院延べ日数	主な病名
4月	4人	66日	尿路感染症・肺炎・胸水
5月	3人	32日	腸ねん転手術・肺炎・胸水
6月	2人	47日	肺炎
7月	1人	20日	肺炎・尿路感染症
8月	4人	67日	心不全・ペースメーカー電池交換・酸素低下
9月	3人	68日	胆のう炎・骨折・肺炎
10月	2人	65日	癌・黄疸
11月	1人	13日	胆のう炎
12月	1人	34日	結石性腎盂腎炎・頭部打撲
1月	1人	24日	高血糖
2月	2人	84日	尿閉による水腎症・直腸潰瘍
3月	4人	83日	肺炎・蜂窩織炎・直腸癌・血糖異常
合計	28人	603日	
月平均	2.3人	50.3日	

18 食事数の状況

	朝食			昼食				夕食			経管栄養
	入所	短期	職員	入所	短期	デイ	職員	入所	短期	職員	
4月	1,201	134	0	1,201	156	221	506	1,201	129	36	7

5月	1,275	145	0	1,275	179	223	481	1,279	148	33	8
6月	1,235	130	0	1,235	164	197	479	1,236	130	18	8
7月	1,282	143	0	1,282	176	211	455	1,282	149	16	8
8月	1,238	177	0	1,236	210	209	455	1,237	177	14	8
9月	1,186	158	0	1,186	186	225	410	1,186	159	20	8
10月	1,223	158	0	1,226	189	216	413	1,225	162	15	8
11月	1,235	145	0	1,238	175	220	415	1,238	150	15	8
12月	1,269	175	0	1,268	202	217	419	1,267	178	14	8
1月	1,240	170	0	1,241	199	195	440	1,243	176	15	8
2月	1,084	178	0	1,085	212	188	396	1,083	184	12	8
3月	1,254	198	0	1,254	234	214	450	1,257	211	12	7
合計	14,722	1,911	0	14,727	2,282	2,536	5,319	14,734	1,953	220	94
月平均	1,226	159	0	1,227	190	211	443	1,227	162	18	7

19 行事食の状況

実施日	行事食名	献立内容
4/9	お花見定食	筍ごはん・吸い物・天ぷら・カニカマ卵ロール 明太子マヨサラダ・サクラ大根・いちごゼリー
5/5	子供の日メニュー	オムライス・吸い物・鯉のぼりバーグ 塩昆布とそら豆ポテトサラダ・いちごババロア
6/9	さなぶり定食	帆立ごはん・エビのつみれ汁・カレイの照り焼き・天ぷら イカの酢みそ和え・さくらゼリー
7/7	七夕ランチ	七夕中華・七夕稲荷・鶏唐揚げ・練り切り・杏仁豆腐
7/28	土用の丑の日	散らし寿司・吸い物・カボチャ小倉煮・オレンジ缶
8/13	お盆メニュー	赤飯・吸い物・精進揚げ・心太・まろやか水フキ
9/16	敬老会弁当	散らし寿司・吸い物・天ぷら・果物・盛り合わせ・練り切り
10/11	スポーツの日メニュー	ご飯・豚汁・スペイン風オムレツ・和風サラダ・漬物
10/27	そばの日	天ぷら・かぼちゃ小倉煮・西和賀産そば
11/19	海鮮丼	海鮮丼・吸い物・シーチキンサラダ・柿
12/24	クリスマスメニュー	スパゲティ・ナポリタン・ポテトカップグラタン ケチャップライス・青菜スープ・ミートローフ
12/31	年越しメニュー	年越しそば・いなり寿司・筑前煮・大根一本漬け
1/1	おせち	赤飯・雑煮・ブリの甘酢あんかけ・盛り合わせ・鶏肉三色巻 蟹風味高野豆腐・まぐろ・果物
1/7	七草粥	七草粥・みそ汁・筑前煮・紅白なます・リンゴ
2/3	節分の日	恵方巻・イワシのつみれ汁・かぼちゃの炊き合わせ・赤鬼
3/3	お雛様メニュー	春の散らし寿司・吸い物・桜エビのかき揚げ・菜の花浸し 三食ゼリー

20 行事の状況

実施日	名 称	実施内容
4/24～5/5	花見ドライブ	外気に触れ、景色を見ることで沢内の春の訪れを感じることができた。
6/28	さなぶり喫茶	さなぶりの時期に合わせてホーム喫茶形式で実施
7/23～27	リフレッシュ風呂	オレンジとミントを浮かべて実施
8/6	納涼盆踊り	夏祭りを行うことができなかったため夏祭りの雰囲気味わっていただくために、在宅と一緒に実施している。職員は夏祭りらしい服装をして中庭で模擬店を開き、メインは職員による盆踊り太鼓を実施
9/16	敬老会	長寿を祝い健康を祈願した。例年であれば祝賀会との二部構成だが、式典のみの実施
9/24	秋の彼岸法要	南昌寺小向住職をお招きし、法要を実施
11/11	不在者投票	西和賀町長選挙
12/24	クリスマス忘年会	一年の苦労を忘れて楽しく過ごすために、職員のアトラクションを中心に実施
1/1	新年交賀会	歳祝い該当者を中心に、利用者にとって今年一年が良い年であるように願いながらお祝いを実施
2/3	節分豆まき	職員が赤鬼青鬼となり、一年の無病息災を願い豆まきを実施
3/3	お雛様	ひな壇と記念撮影を実施
3/18	春の彼岸法要	碧祥寺太田住職をお招きし、法要を実施
3/22～3/26	あったま風呂	お好みの入浴剤を選んでいただき実施

21 ボランティアの状況

団体名	登録人員	1回当たりの平均参加人員	事業のかかわり方
理容ボランティア	2人	2人	整髪14回
ぶなの園家族会	50人	23人	花植え、建物周辺除草作業掃等の環境整備

22 会議等の状況

(1) リーダー会議

開催日	議 題	
4/2	・令和2年度事業報告について	・全職員会議について
5/7	・職員からの意見等について ・家族会環境整備について	・重点目標の進め方について ・ショートステイ受入れ制限解除に向けて
6/2	・職員からの意見等について ・業務分掌について	・重点目標の進め方について ・ショートステイ受入れ制限解除に向けて
7/2	・職員からの意見等について ・夏祭りの対応について	・家族懇談会開催に向けて ・ショートステイ受入れ制限解除に向けて
8/3	・職員からの意見等について	・敬老会の対応について

	・利用状況の分析と課題	・ショートステイ目標定員受入れに向けて
9/2	・職員からの意見等について ・事例研究発表会について	・家族会窓ふき対応について ・購入物品予算要求について
10/3	・職員からの意見等について ・不在者投票について ・町立さわうち病院との連携について	・上期事業計画実施評価 ・事例研究発表会に向けて
11/2	・職員からの意見等について ・利用状況及び課題について	・事例研究発表実施評価 ・指導監査について
12/2	・職員からの意見等について ・クリスマス忘年会について ・指導監査報告について	・次年度予算要求について ・新年交賀会について ・利用状況及び課題について
1/5	・職員からの意見等について ・ショートステイ利用者の課題分析	・利用状況及び課題について ・クリスマス忘年会及び新年交賀会反省
2/2	・職員からの意見等について ・新型コロナ等感染症発生における業務継続計画について ・看取り利用者の対応及び課題について	・事業方針及び重点目標について ・利用状況及び課題について
2/15	・令和4年度重点目標について ・令和4年度年間予定について	・令和4年度委員会について
3/2	・職員からの意見等について ・利用状況及び課題について	・全職員会議の内容について

(2) 介護主任副主任会議

開催日	議 題	
4/6	・ 今後の職員会議について ・ 介護補助職員業務内容 ・ 褥瘡が出る原因について	・ 担当職員としての業務内容 ・ ショート受入れについて ・ 新型コロナ予防接種について
5/10	・ 有給休暇取得方法について ・ ショートステイ受入れについて	・ 健康診断について ・ 外国人技能実習生の進捗状況
6/8	・ 見守りキューブの説明 ・ 新人職員指導について ・ 内出血の原因と対策について	・ 新型コロナワクチン接種評価 ・ ショートステイ受入れについて
7/6	・ 内部学習会について ・ ショートステイ受入れについて ・ 事例研究発表に向けて	・ 新人職員指導による進捗状況 ・ 外国人技能実習生の勤務体制について
8/5	・ 新人職員指導による進捗状況 ・ ショートステイ受入れについて ・ 事例研究発表に向けて	・ 介護職員が行える医療行為 ・ 外国人技能実習生の勤務体制について
9/6	・ 新人職員指導による進捗状況 ・ 第三者委員サービス現場見学結果 ・ 外国人技能実習生の勤務体制について	・ 敬老会について ・ ショートステイ受入れについて ・ 事例研究発表に向けて
10/6	・ 新人職員指導による進捗状況	・ 職員体制について

	・ショートステイ受入れについて	・介護事故改善に向けて
11/5	・新人職員指導による進捗状況 ・虐待防止について	・医療的ケア研修について
12/7	・新人職員指導による進捗状況 ・ショートステイ受入れについて	・経管栄養の回数変更に伴う動きについて ・クリスマス忘年会について
1/7	・新人職員指導による進捗状況 ・入浴対応について	・ショートステイ受入れについて
2/4	・新人職員指導による進捗状況 ・新型コロナワクチン接種について	・ショートステイ受入れについて
3/4	・新人職員指導による進捗状況 ・職員アンケート結果について	・ショートステイ受入れについて ・見守りキューブについて

(3) 介護職員会議

開催日	議 題
4/9	・事業計画・組織体制・業務分掌・住民担当・委員会及び担当・研修計画 ・高額物品等購入計画・有給取得・コロナ対策
5/14	・業務改善 ・外国人技能実習生について
6/11	・業務改善 ・外国人技能実習生について ・事故振り返り
7/9	・業務改善 ・外国人技能実習生について ・勤務表への意見聞き取り
8/12	・業務改善 ・外国人技能実習生について ・理学療法士との情報交換
9/10	・業務改善 ・外国人技能実習生について ・理学療法士との情報交換
10/13	・業務改善 ・外国人技能実習生について ・理学療法士との情報交換 ・利用者の健康観察について
11/12	・介護福祉士取得について ・ショートステイ業務について ・事故振り返り
12/10	・業務改善 ・外国人技能実習生について ・理学療法士との情報交換
1/14	・業務改善 ・外国人技能実習生について ・理学療法士との情報交換 ・紙おむつ種別についての意見
2/9	・業務改善 ・外国人技能実習生について ・機能訓練指導員との情報交換
3/11	・業務改善 ・外国人技能実習生について ・見守りキューブ利用者選択

(4) 入所検討委員会

開催日	外部参加	議 題
5/13	1 名	・入所待機上位者の検討
9/14	1 名	・入所待機上位者の検討
10/8	1 名	・入所待機上位者の検討
11/1	1 名	・入所待機上位者の検討
1/24	1 名	・入所待機上位者の検討
4/27	1 名	・入所待機上位者の検討

(5) 第三者評価委員会

開催日	外部参加	議 題
4/16	4 名	・ 令和3年度役員構成・ 令和3年度活動計画・ 事故及び苦情報告
2/10	4 名 (書面報告)	・ 令和3年度活動報告・ 令和3年度入所者状況・ 事故及び苦情状況 ・ 令和4年度活動計画

(6) 身体拘束適正化及び虐待防止委員会

開催日	議 題
4/20	・ 身体拘束状況を踏まえた改善対策について・ 高齢者虐待防止の基本について ・ 身体拘束適正化委員会設置要綱の見直し
7/20	・ 身体拘束状況を踏まえての改善 ・ 介護事故の検証 ・ 内部研修について
10/19	・ 身体拘束状況を踏まえた改善対策について ・ 内部研修について ・ 法人高齢者虐待防止対応マニュアルについて
12/21	・ 内部研修の実施 ・ 虐待防止対策について
2/22	・ 身体拘束状況を踏まえた改善対策について ・ 活動総括及び次年度計画
3/1	・ つなぎ服着用改善対策の実施

(7) 介護事故防止対策委員会

開催日	議 題
4/27	・ 介護事故マニュアルの確認 ・ 介護事故発生時の対応及び報告ルートの確認
5/25	・ 令和3年4月事故ヒヤリハットについて ・ 内部研修について
6/29	・ 令和3年5月事故ヒヤリハットについて ・ 内部研修について
7/29	・ 令和3年6月事故ヒヤリハットについて ・ 内部研修について ・ 理学療法士から学ぶ
8/31	・ 令和3年7月事故ヒヤリハットについて ・ 移乗時や体位交換の統一
9/28	・ 令和3年8月事故ヒヤリハットについて ・ 内部研修について ・ 理学療法士指導からの振り返り
10/27	・ 令和3年9月事故ヒヤリハットについて ・ 内部研修について ・ 職員聞き取り調査結果について
11/30	・ 令和3年10月事故ヒヤリハットについて ・ 内部研修について
12/28	・ 令和3年11月事故ヒヤリハットについて ・ 内部研修について ・ 利用者環境改善について
1/26	・ 令和3年12月事故ヒヤリハットについて ・ 内部研修について
2/24	・ 令和4年1月事故ヒヤリハットについて ・ 利用者の情報の共有について
3/29	・ 令和4年2月事故ヒヤリハットについて ・ 全体計画の総括 ・ 見守りキューブ設置について

(8) ターミナル委員会

開催日	議 題
-----	-----

5/21	・マニュアルの更新について	・方針について
11/26	・学習会について（死生観について）	
2/25	・マニュアルの更新について	・総括、方針について

(9) 褥瘡委員会

開催日	議 題
5/26	・指針及びマニュアルの見直し ・委員の役割分担 ・内部学習
3/1	・褥瘡発生状況について ・エアーマット予防マット使用状況 ・今年度活動報告 ・来年度活動計画

(10) 痰の吸引等の安全対策委員会

開催日	議 題
5/20	・委員会設置要綱について ・吸痰、経管栄養注入のマニュアル見直し ・学習会について ・吸引チューブの取扱について
8/23	・吸痰、経管栄養注入のマニュアル見直し ・学習会について
11/29	・新たに吸引が必要な方について
2/28	・活動報告及び総括 ・来年度計画について

(11) 感染症委員会

開催日	議 題
4/13	・昨年度事業報告及び今年度計画について ・マニュアルの確認 ・新型コロナワクチン接種について ・内部研修について
7/13	・内部学習会について（標準予防対策の徹底） ・利用者の健康管理 ・職員の健康管理 ・ショートステイ利用者ワクチン接種者の確認
9/21	・標準予防策学習会の実施に向けて
11/11	・法人リスク管理研修への参加
12/28	・感染予防対策研修への実施に向けて
2/8	・標準予防策の徹底について ・新型コロナ等感染症発生時における業務継続について ・事業報告及び総括について ・来年度事業計画について

(12) 口腔衛生管理委員会

開催日	議 題
4/30	・委員会開催予定日の確認 ・歯科指導について ・口腔指導について ・内部学習会について
7/16	・口腔衛生管理加算マニュアルの見直し ・内部学習会について ・口腔指導について
10/25	・内部隔週会の反省 ・口腔指導について ・拡声器導入について
1/28	・今年度の総括 ・次年度活動計画

(13) 栄養管理委員会

開催日	議 題
7/27	・活動計画について ・栄養マネジメント加算について ・報酬改正の概要について
1/31	・栄養マネジメントについて ・栄養ケア計画書 ・今年度の総括

(14) 医務会議

開催日	議 題
4/13	・業務改善について ・住民の健康診断について ・新型コロナワクチン接種について
5/13	・業務改善について ・カテーテルについて ・在宅福祉課業務分掌について
6/15	・業務改善について ・カテーテルについて
7/9	・業務改善について ・事例研究発表について
8/11	・業務改善について ・利用者の状態について ・経管栄養について
9/10	・業務改善について ・利用者の状態について
10/19	・早番業務について ・インスリン注射対応について
11/12	・経管栄養注入回数について ・服薬管理について
12/7	・経管栄養注入回数について ・デイスボ等の衛生について
1/12	・業務改善について ・新型コロナ感染蔓延時の対応について
2/10	・新型コロナ感染症発生時の医務対応について
3/10	・業務改善について ・薬の取扱について

(15) 厨房会議

開催日	議 題
4/9	・会議活動計画について ・スチコン講習会について ・行事食について
5/11	・行事食の提案、食器の検討 ・副食の食形態について
6/9	・行事食について ・手作りおやつについて ・禁止食、熟煮食について
7/8	・食形態について ・事例研究発表について
8/10	・夏祭りの反省 ・敬老会弁当について ・事例研究発表に向けて
9/8	・手打ちそばについて ・日課の見直し ・事例研究発表に向けて
10/8	・行事食について ・検食簿から ・緊急時の対応について
12/10	・クリスマス忘年会に向けて ・異物混入改善対策について
1/14	・行事食の振り返り ・厨房職員体制について
2/10	・来年度給食年間行事食について ・感染対策対応について
3/10	・検食簿から意見について ・今年度の総括及び来年度計画について

23 事故等の発生件数

事故内訳 事故結果	転倒	転落	介助中	誤嚥 異食	誤与薬	本人 行為	原因 不明	その他
--------------	----	----	-----	----------	-----	----------	----------	-----

死亡								
骨折			1					
出血			1					
剥離			2			1	1	
内出血		1	9			10	122	
打撲			1					
体調悪化								
異常なし						1		
その他			1			1		

※令和３年度の事故では、原因不明の内出血が多く発生している。主に全介助の方で血液サラサラの薬を服用している４人の事故が多く、手や腕を支えただけで内出血になるケースもあった。医師に相談し薬の調整をお願いするなど改善に努めている。

24 苦情受付状況

相談の分類	苦情件数
	０件

第4章 在宅福祉課

○西和賀介護相談室（指定居宅介護支援事業所）

西和賀介護相談室（介護予防支援事業）

1 事業の総括

令和元年度から特定事業所加算取得に伴い、その算定要件を満たすための取り組みとして週1回の事業所会議において、各々のケアマネジメントを振り返ることや通知や制度など必要な知識、法令や各種通知などの情報を共有する機会を持つことができた。

作成依頼件数について、要支援の委託件数は243件で前年度実績を83件下回ったものの、要介護の作成件数が1,123件と2年続けて1,000件を超え、前年度実績も116件上回ったことで合計1,366件となり、前年度実績1,333件を33件上回ることができた。

2 重点目標

(1) 利用者に寄り添う（人権尊重）

ア 以前に担当していた家族からの依頼が複数あり、サービスへと繋がっている。

イ 自立支援の対象となる利用者は、高齢化に伴い年々減少しているものの、自立支援に向けたケアプラン作成には継続して取り組んだ。

(2) 快適な環境づくり（安全・安心）

ア 今年度よりスマホを導入したが、利用者家族からは、ケアマネ本人に直接連絡が取れるので安心していても声が多くあった。

(3) 互いに支え合い（チーム介護・モチベーション・人材確保）

ア リモート研修（新型コロナウイルス感染症について、自立支援研修等）に参加し、スキルアップに努めた。自分たちで企画した内部研修会では、グループ討議や意見交換でお互いの考え方や意識を理解することができて情報共有ができた。

イ 職員全員が有給休暇を取れている現状で、特に大きな病気やケガ等なく勤めることができた。

ウ 余命宣告を受けた利用者に対し看取り期の支援を行なったところ、家族よりいろいろと良くしていただき、一連の対応に満足したと感謝していただける場面があり、働きがいも改めて感じられる場面があった。

(4) 地域と共に（共生社会・地域貢献）

ア 特に難しい対応がせまられた方や看取りの宣告を受けられた方などについて、関係する部署や事業所で情報共有に努め支援にあたった結果、チームケアが実践できたと思われる。

イ 現在対応している利用者がある一方、町内では70歳以上で支援費制度を利用されている方々で介護認定を受けられていない方も多くなっている。事業所としては開設以来、支援費制度を併用されている方々のニーズに対応し、支援はできている。

(5) 明日をつくる（社会参加と健全経営）

ア 目標は達成できている。町の動向に注視して新規利用者を受け入れできた。

イ 令和3年度は実務者研修の申し入れがなかった。今後申し入れがあった場合は受け入れて行く。

3 職員の状況

	所長	管理者	介護支援専門員	計
令和3年度	(1)	(1)	3.0	3.0 (1)
前年度	(1)	(1)	3.0	3.0 (1)

4 利用者の状況

	要支援		計	要介護					計	合計	相談 件数
	1	2		1	2	3	4	5			
4月	11	11	22	35	28	13	7	2	85	107	196
5月	12	11	23	35	30	16	7	2	90	113	215
6月	12	9	21	37	29	15	8	3	92	113	204
7月	12	10	22	39	27	16	8	2	92	114	253
8月	11	10	21	43	28	17	8	2	98	119	247
9月	10	11	21	42	26	18	7	2	95	116	201
10月	10	9	19	39	27	16	7	2	91	110	197
11月	9	9	18	42	28	16	6	2	94	112	236
12月	8	10	18	44	25	16	5	2	92	110	216
1月	8	10	18	46	28	19	6	2	101	119	236
2月	8	12	20	42	28	17	6	2	95	115	218
3月	7	13	20	40	29	19	8	2	98	118	194
計	118	125	243	484	333	198	83	25	1,123	1,366	2,613
前年度	136	190	326	424	247	198	119	19	1,007	1,333	2,390

5 会議の状況

(1) 職員会議

開催日	議 題
4/5	・ 令和2年度総括及び事業報告について ・ コスト削減と業務改善について ・ 業務分掌について ・ 年間予定について ・ 前月実績の分析と今後の対応について ・ 困難ケース等の検討及び情報交換 ・ 有給休暇取得希望時期について
5/10	・ 前月実績の分析と今後の対応について ・ 困難ケース等の検討及び情報交換 ・ 業務分掌について ・ コスト削減と業務改善について ・ 令和2年度事業総括について ・ 有給休暇取得希望時期について
6/4	・ 前月実績の分析と今後の対応について ・ 困難ケース等の検討及び情報交換 ・ 自立支援ケア研修について ・ コスト削減と業務改善について ・ 事例研究発表について
7/5	・ 前月実績の分析と今後の対応について ・ 困難ケース等の検討及び情報交換 ・ 在宅福祉課内部学習会について ・ 家族懇談会の反省について ・ 新型コロナウイルス感染対応について ・ 居宅サービス計画書等の新様式について ・ 事例研究発表について

8/5	・前月実績の分析と今後の対応について ・困難ケース等の検討及び情報交換	・新型コロナウイルス感染対応について ・第1四半期実績について
9/7	・前月実績の分析と今後の対応について ・今年度事業計画の上半期総括について ・高額物品購入について	・困難ケース等の検討及び情報交換 ・新型コロナウイルス感染対応について ・事例研究発表について
10/5	・前月実績の分析と今後の対応について ・今年度事業計画の上半期総括について	・新型コロナウイルス感染対応について ・ケース検討及び情報交換
11/2	・前月実績の分析と今後の対応について ・新型コロナウイルス感染対応について ・課内研修報告会について	・今年度事業計画の進捗状況について ・困難ケース等の検討及び情報交換
12/7	・前月実績の分析と今後の対応について ・新型コロナウイルス感染対応について ・集団指導について	・次年度物品購入と予算要望について ・困難ケース等の検討及び情報交換
1/11	・前月実績の分析と今後の対応について ・次年度研修計画について ・書籍購入について	・次年度購入希望物品と予算要望について ・困難ケース等の検討及び情報交換 ・新型コロナウイルス感染対応について ・ケア会議について
2/8	・前月実績の分析と今後の対応について ・今年度事業総括について ・書籍購入について ・自立支援ケア会議について	・困難ケース等の検討及び情報交換 ・次年度事業計画について ・新型コロナウイルス感染対応について
3/8	・前月実績の分析と今後の対応について ・次年度事業計画について ・Zoom研修について ・アンケート調査の回答について	・困難ケース等の検討及び情報交換 ・今年度事業総括について ・新型コロナウイルス感染対応について

(2) 連絡会議

開催日時	毎週水曜日 8:45～9:30（但し、職員会議を開催した週を除く）
議 題	困難ケース等事例検討、法令通知等情報の確認と整理、相談援助方法の確認 各種制度等の学習会、担当者会議の持ち方と進め方、業務内容と業務範囲について、 新型コロナウイルス感染対応について、業務の引継ぎについて

6 要介護等認定調査受託実施状況

	委託元	委託件数	委託元	委託件数	合 計	備 考
4 月	西和賀町	3	北上市	1	4	
5 月	西和賀町					
6 月	西和賀町	2			2	
7 月	西和賀町	2			2	
8 月	西和賀町	4			4	
9 月	西和賀町					
10 月	西和賀町	2			2	

1 1 月	西和賀町					
1 2 月	西和賀町					
1 月	西和賀町	3			3	
2 月	西和賀町	2			2	
3 月	西和賀町					
合 計	西和賀町	18	北上市	1	19	
前年度	西和賀町	7			7	

○ホームヘルプステーションぶなの園（指定訪問介護事業）

ホームヘルプステーションぶなの園（指定介護予防訪問介護事業）

1 事業の総括

令和3年度は人事異動等により職員体制に変更が生じ、事業に係わる職員が減ったため、必要な資格要件を満たすための研修等の受講を推し進めようとしたものの、コロナウイルス感染対応により予定されていた研修が相次いで中止され、研修会場にて受講できなかった研修が多かった。一方で、ZoomやYouTubeなどWEBサービスを活用した研修を受講する機会を設けることで、情報共有を効率的に推し進めることができた。同行訪問による引継ぎ等については、利用者及び家族の協力を得ながら丁寧に進めることを心掛け、支障なく事業を継続することができた。また、常に家族や関係事業所等と情報を共有し、安全に配慮した支援についても継続して取り組むことができた。

令和3年度の利用者のサービス利用の傾向として、要介護においては身体介護と乗降介助が増加し、生活援助が減少した。介護予防日常生活支援総合事業は微増し、指定障害福祉サービス事業は実利用者減の影響が大きく減少に転じた。結果、全体では実利用者335人と前年度341人を6人下回り、延べ利用者数も1,962人となり前年度1,992人を30人下回った。1日平均についても6.28人となり、前年度1日平均6.36人を0.08人下回ることとなった。

コスト削減と業務改善については、追加利用やキャンセル等があったときには訪問予定や配車などを速やかに見直し、常に円滑なサービス提供に配慮し業務にあたった。

2 重点目標

(1) 利用者に寄り添う（人権尊重・質の高い介護）

ア 計画的にサービスを実施しながら、意見や悩みを受け止めて、些細な変化も見逃さないよう支援してきた。これらを積み重ね継続したことで、個性を尊重した支援を実施することができた。

イ ヒヤリハット等発生時は原因の分析を行い、再発防止に繋がる対策を講じ業務にあたった。意思疎通の難しい利用者を介助する際は、家族の協力を得ることで介護事故を防ぐことができた。

ウ 生活歴や利用者の個性に合わせた対応を行なうにあたり、学習会で得た技術を実践して疑問点は迅速に解決できるよう取り組んだ。

(2) 快適な環境づくり（安全・安心）

ア 体調確認を行い、状況に応じて援助内容を臨機応変に対応した。訪問介護計画書や特記事項等を基に確認し、同一のサービスの提供に努めた結果、統一したサービスを実施する

ことができた。

(3) お互いに支え合い（チーム介護・モチベーション・人材育成）

ア 新型コロナウイルスの影響もあり、Zoom や YouTube などのウェブ研修を取り入れ学習した。また、職員同士の学習会を実施し疑問点を解決することで、技術の向上に取り組んだ。

事例研究発表については、普段見ることができない訪問介護の支援状況を法人職員に紹介できる機会となった。今回の取り組みを通して、訪問介護員それぞれの考えを改めて共有できたことで、利用者の心に今まで以上に寄り添った支援につなげることができた。

イ 特記事項への記載や訪問後に利用者の気づきを伝えることで、情報を共有し合い、次の支援時に繋げることができた。

ウ 計画的に有給休暇取得に取り組むことができた。

(4) 地域と共に（共生社会・地域貢献）

ア 状況の変化に気づいた際は、迅速に関係機関に伝えた。他事業所の協力のもと情報を把握して、多職種と協力し支援することができた。

イ 曜日や時間の変更等をし、要望に沿った訪問で対応することができた。

(5) 明日をつくる（社会参加・健全経営）

ア 実績に繋げることができるよう、要望時は迅速に対応して、目標数値達成ができるよう努めた。

イ 同行訪問を通して第三者評価委員に支援内容の実情を見てもらうことができた。また、助言を得ることで自分達のサービスを省みることができ、良質なサービスに繋げることができた。

3 職員の状況

	正規職員	臨時職員	パート	計	常勤換算
所長	(1)			(1)	
サービス提供責任者	1			1	1
うち介護福祉士	1			1	1
訪問介護員	1	1		2	1.6
うち介護福祉士	1	1		2	1.6

4 利用者の状況

(1) 介護度別実利用者数

	事業 対象者	要 支 援		計	要 介 護					計	合計
		1	2		1	2	3	4	5		
4月	1	0	5	6	10	4	2	1	0	17	23
5月	1	0	4	5	9	6	3	3	0	21	26
6月	1	1	4	6	8	5	2	3	0	18	24
7月	1	1	5	7	9	6	2	4	0	21	28
8月	1	2	5	8	9	6	2	3	0	20	28
9月	1	1	7	9	10	7	2	4	1	24	33
10月	1	1	6	8	9	7	2	4	1	23	31

11月	1	0	6	7	11	7	2	3	0	23	30
12月	1	0	6	7	8	7	3	4	0	22	29
1月	1	0	5	6	8	5	3	3	0	19	25
2月	1	0	5	6	7	6	3	4	0	20	26
3月	1	0	4	5	8	4	7	4	0	23	28
計	12	6	62	80	106	70	33	40	2	251	331
前年度	18	13	51	82	107	51	42	24	11	235	317

(2) 1日平均利用者数

	事業 対象者	要支援		計	要介護					計	合計	稼働 日数
		1	2		1	2	3	4	5			
4月	0.08	0.00	1.08	1.08	2.23	0.88	0.65	0.50	0.00	4.27	5.35	26
5月	0.08	0.00	0.81	0.81	1.77	1.15	0.58	0.62	0.00	4.12	4.92	26
6月	0.08	0.15	0.81	0.96	1.85	0.85	0.46	1.54	0.00	4.69	5.65	26
7月	0.07	0.11	0.81	0.93	1.96	0.96	0.52	1.59	0.00	5.04	5.96	27
8月	0.08	0.23	0.88	1.12	1.85	1.15	0.27	1.46	0.00	4.73	5.85	26
9月	0.08	0.19	1.38	1.58	2.04	1.00	0.35	1.62	0.15	5.15	6.73	26
10月	0.08	0.15	1.08	1.23	1.88	0.96	0.50	1.73	0.08	5.15	6.38	26
11月	0.08	0.00	1.15	1.15	2.15	0.77	0.50	1.69	0.00	5.12	6.27	26
12月	0.07	0.00	1.04	1.04	2.00	0.81	0.59	1.74	0.00	5.15	6.19	27
1月	0.08	0.00	0.85	0.85	1.88	0.50	0.54	1.81	0.00	4.73	5.58	26
2月	0.08	0.00	0.88	0.88	2.08	0.67	0.46	1.92	0.00	5.13	6.00	24
3月	0.07	0.00	0.85	0.85	2.15	0.48	1.07	1.63	0.00	5.33	6.19	27
計	0.08	0.07	0.97	1.12	1.99	0.85	0.54	1.49	0.02	4.88	6.00	313
前年度	0.15	0.16	0.84	1.15	1.79	0.97	0.87	0.59	0.09	4.32	5.46	314

(3) サービス種別実利用者数

	訪問				計	身体 介護	生活 援助	乗降 介助	身体 生活	計	合計
	I	II	III	IV							
4月	3	2	0	1	6	9	6	2	0	17	23
5月	2	2	0	1	5	11	7	3	0	21	26
6月	4	1	0	1	6	11	5	2	0	18	24
7月	5	1	0	1	7	13	5	3	0	21	28
8月	6	1	0	1	8	13	6	1	0	20	28
9月	5	3	0	1	9	13	6	5	0	24	33
10月	5	2	0	1	8	13	6	4	0	23	31
11月	5	1	0	1	7	13	7	3	0	23	30
12月	5	1	0	1	7	12	6	4	0	22	29
1月	4	1	0	1	6	11	5	2	1	19	25
2月	4	1	0	1	6	13	4	3	0	20	26

3月	3	1	0	1	5	15	3	5	0	23	28
計	51	17	0	12	80	147	66	37	1	251	331
前年度	53	12	0	17	82	138	64	38	3	243	325

(4) サービス種別延利用時間数

	訪 問				計	身体 介護	生活 援助	乗降 介助	身体 生活	計	合計
	I	II	III	IV							
4月	9.25	15.00	0.00	1.50	25.75	62.50	34.50	1.50	0.00	98.50	124.25
5月	7.00	12.00	0.00	1.50	20.50	66.00	26.00	2.50	0.00	94.50	115.00
6月	15.75	7.00	0.00	1.50	24.25	77.50	24.00	1.50	0.00	103.00	127.25
7月	14.25	9.00	0.00	1.50	24.75	86.00	24.75	2.50	0.00	113.25	138.00
8月	19.00	8.00	0.00	1.50	28.50	72.50	27.75	1.00	0.00	101.25	129.75
9月	16.75	19.00	0.00	1.50	37.25	73.00	28.00	6.50	0.00	107.50	144.75
10月	16.25	12.00	0.00	1.50	29.75	78.00	27.75	3.50	0.00	109.25	139.00
11月	18.00	9.00	0.00	1.50	28.50	79.50	26.00	2.50	0.00	108.00	136.50
12月	17.25	8.00	0.00	1.50	26.75	82.50	24.25	3.50	0.00	110.25	137.00
1月	13.25	7.00	0.00	1.50	21.75	77.50	18.50	2.00	1.50	99.50	121.25
2月	11.25	6.00	0.00	1.50	18.75	79.00	16.00	2.50	0.00	97.50	116.25
3月	12.50	6.00	0.00	1.50	20.00	90.00	14.75	4.50	0.00	109.25	129.25
計	170.50	118.00	0.00	18.00	306.50	924.00	292.25	34.00	1.50	1251.75	1558.25
前年度	193.75	81.25	0.00	31.50	306.50	709.00	375.00	40.00	24.00	1148.00	1454.50

5 会議の状況

職員会議

開催日	議 題
4/7	・前月実績に基づいた状況確認 ・前年度総括と事業所実績 ・コスト削減と業務改善 ・業務分掌 ・有給休暇取得希望時期
5/11	・前月実績に基づいた状況確認 ・コスト削減と業務改善 ・公用車の洗車について
6/4	・前月実績に基づいた状況確認 ・事例研究発表 ・コスト削減と業務改善 ・感染対応
7/5	・前月実績に基づいた状況確認 ・家族懇談会の反省 ・事例研究発表
8/6	・前月実績に基づいた状況確認 ・新型コロナウイルス感染対応 ・同行訪問 ・事例研究発表
9/7	・前月実績に基づいた状況確認 ・新型コロナウイルス感染対応 ・高額物品購入 ・上半期事業計画の振り返り ・事例研究発表 ・同行訪問
10/6	・前月実績に基づいた状況確認 ・事業計画の進捗状況と上半期の総括・同行訪問
11/10	・前月実績に基づいた状況確認 ・上半期総括と下半期の向けての取り組み ・高齢者虐待防止対応マニュアル
12/3	・前月実績に基づいた状況確認 ・次年度物品購入と予算要望 ・人事要望 ・家族懇談会の反省 ・検便検査の実施 ・運転業務

1/12	・前月実績に基づいた状況確認 ・次年度の物品購入と研修計画 ・感染症対応
2/7	・前月実績に基づいた状況確認 ・今年度事業総括 ・次年度事業計画 ・新型コロナウイルス感染対応
3/11	・前月実績に基づいた状況確認 ・今年度総括と次年度重点目標 ・身分証明書の携行

6 研修受入れ

なし

○ホームヘルプステーションぶなの園（指定障害福祉サービス事業）

1 利用者の状況

	実利用者数					延利用者数				
	身体介護	生活援助	乗降介助	身体生活	計	身体介護	生活援助	乗降介助	身体生活	計
4月	0	0			0	0	0			0
5月	1	0			1	7	0			7
6月	1	0			1	6	0			6
7月	1	0			1	5	0			5
8月	1	0			1	9	0			9
9月	1	0			1	9	0			9
10月	1	0			1	8	0			8
11月	1	0			1	8	0			8
12月	1	0			1	9	0			9
1月	1	0			1	8	0			8
2月	1	0			1	8	0			8
3月	1	0			1	8	0			8
計	11	0	0	0	11	85	0	0	0	85
前年度	24	0	0	0	24	272	0	0	0	272

※延利用時間数は延利用者数に同じ

○ぶなの園営業所（一般乗用旅客自動車運送事業）

1 利用者の状況

	5km未満(600円)		5～15km未満(700円)		15km以上(1kmを増すごとに50円加算)		合 計	
	件数	延金額	件数	延金額	件数	延金額	件数	延金額
4月	1	600	2	1,400	0	0	3	2,000
5月	4	2,400	3	2,100	0	0	7	4,500
6月	2	1,200	3	2,100	0	0	5	3,300
7月	4	2,400	3	2,100	0	0	7	4,500
8月	1	600	3	2,100	0	0	4	2,700

9月	5	3,000	8	5,600	2	1,600	15	10,200
10月	5	3,000	4	2,800	0	0	9	5,800
11月	2	1,200	3	2,100	2	1,600	7	4,900
12月	6	3,600	3	2,100	0	0	9	5,700
1月	1	600	5	3,500	0	0	6	4,100
2月	5	3,000	4	2,800	0	0	9	5,800
3月	5	3,000	6	4,200	0	0	11	7,200
合計	41	24,600	47	32,900	4	3,200	92	60,700
前年度	32	19,200	40	28,000	8	8,800	80	56,000

○デイサービスセンターぶなの園（指定認知症対応型通所介護事業）定員 10 名

デイサービスセンターぶなの園（指定介護予防認知症対応型通所介護事業）

1 事業の総括

認知症対応型通所介護としての個別的なケアを心がけ実施している。年間利用者2,540人、1日平均8.14人となり、今年度の目標値1日平均8.5人を上回ることができなかった。利用者の体力維持のための体操や屋外での園芸活動、個別の創作活動等も継続できている。今年度は、前年度に引き続きコロナウイルス感染症の影響により文化祭が2年連続で開催されなかったが、広報やホームページを通じて数多くの作品の展示や活動内容を紹介することに努めた。また、外部ボランティアによる華道教室についても、感染拡大防止の観点から今年度は前年度同様1度だけの実施にとどまった。

新型コロナウイルス感染症対応策として、外部の方との接触機会を減らすことと併せ、前年度から継続して浴室をデイと特養とで使用する時間帯を分けることで、感染拡大時においても特養と一線を画した対応が可能なサービス内容や体制等を確認した

2 重点目標

(1) 利用者に寄り添う（人権尊重・質の高い介護）

ア 利用時の状態について、申し送りや各種記録等を通じて職員間で情報共有することで、迅速かつ細やかなサービス提供につなげることができた。

イ 今年度も例年通り2回（6月、11月）家族懇談会を開催することができた。自宅での介護のストレスについても具体的にお話しいただき、家庭内での様子などを知る貴重な機会となった。

ウ ヒヤリハット発生時には、当日中に検証することで迅速に対策を講じ再発防止に努めたことで、今年度は介護事故0件を達成できた。毎月の職員会議においても、その後の対応経過について振り返りを行ない、安全なサービス提供に努めた

(2) 快適な環境づくり（安全・安心）

ア 利用者、職員共に感染防止対策を継続的に実施できている。福祉施設における新型コロナウイルス、ノロウイルスの対応について動画視聴を活用した学習会を行ない、安心安全なケアと環境づくりに努め、事業所における感染者発生を防ぐことができた。

イ 利用者の心身の観察を行ない、変化があった場合はご家族やケアマネにも速やかに状態

報告し、情報共有することができた。職員も大きく体調を崩すことなく業務に従事できた。

(3) 互いに支え合い（チーム介護・モチベーション・人材確保）

ア 業務内容や日課を見直すことで、休憩時間や必要な業務を行う時間を設定できた。今年度は送迎マニュアルを見直し、業務を改善することができた。

事例研究発表については、今年度職員の異動等から体制を整えながらの取り組みとなった。そのため、テーマや内容等の選考に時間を要したものの、異動職員や新人職員の新たな視点で捉えた業務の改善内容などを発信できたことで、今後の活動への課題や発表内容のまとめ方について改めて学ぶ機会となった。

イ 計画的に通所介護計画を見直し、利用者の状況把握、評価をおこない統一した個別支援につなげることができた。

ウ 介護福祉実務者研修を受ける職員に対し、体制の見直しや勤務調整等を通じて在宅福祉課全体でサポートできた。

(4) 地域とともに（共生社会・地域貢献）

ア コロナ禍で推進委員の施設見学が叶わなかったが、普段の活動の様子を動画にまとめ、上映することで活動内容を伝えることができた。また、町内の認知症高齢者へ対する取り組みについて町から報告いただき、法人と地域住民とで情報共有することができた。

イ コロナ禍で見学や交流、ボランティアの受け入れが出来ない中、町内の保育所の計らいで窓越しでの園児交流や、子供達の元気な日常の様子をまとめた DVD を敬老会で観賞する機会を設けることができた。ボランティア受け入れについては、感染状況から開催時期を判断し 12 月に華道教室を開催することができた。

(5) 明日をつくる（社会参加・健全運営）

ア 介護支援専門員に毎月空き状況の情報発信を行ない、新規利用の確保や利用日追加等につなげることができた。しかし、一方で利用者の入院による利用中止が相次ぎ、結果として利用者増につなげることが出来なかった。

イ 感染対策を施したうえで第三者評価委員の現場見学を受け入れ、利用者の状態や職員の対応について評価していただき、サービス内容を見直す機会となった。

3 職員の状況

	正規職員	臨時職員	パート	計	常勤換算
所長	(1)			(1)	
生活相談員	1	(1)		1(1)	1.3
介護従事者	(1)	2(2)	2	4(3)	5.1
うち介護福祉士	(1)	(2)	1	1(3)	2.1
看護職員					

4 利用者の状況

(1) 実利用者数

	要 支 援		計	要 介 護					計	合計
	1	2		1	2	3	4	5		
4月	0	0	0	6	9	6	1	2	24	24
5月	0	0	0	6	10	6	1	2	25	25

6月	0	0	0	6	9	7	1	1	24	24
7月	0	0	0	6	10	7	1	1	25	25
8月	0	0	0	6	9	7	1	1	24	24
9月	0	0	0	6	8	8	1	2	25	25
10月	0	0	0	5	9	8	1	2	25	25
11月	0	0	0	6	9	7	1	1	24	24
12月	0	0	0	6	9	6	1	1	23	23
1月	0	0	0	5	10	5	1	1	22	22
2月	0	1	1	4	11	5	1	1	22	23
3月	0	1	1	3	10	5	1	1	20	21
計	0	2	2	65	113	77	12	16	283	285
前年度	0	0	0	81	86	106	23	12	308	308

(2) 延利用者数

	要 支 援		計	要 介 護					計	合計
	1	2		1	2	3	4	5		
4月	0	0	0	61	81	61	9	9	221	221
5月	0	0	0	59	89	60	8	8	224	224
6月	0	0	0	56	66	68	9	4	203	203
7月	0	0	0	54	72	70	9	5	210	210
8月	0	0	0	53	77	66	9	4	209	209
9月	0	0	0	59	73	71	8	13	224	224
10月	0	0	0	58	76	65	8	8	215	215
11月	0	0	0	63	77	66	8	6	220	220
12月	0	0	0	66	79	58	8	5	216	216
1月	0	0	0	49	75	60	7	5	196	196
2月	0	8	8	39	86	43	7	4	179	187
3月	0	9	9	38	97	57	8	6	206	215
計	0	17	17	655	948	745	98	77	2,523	2,540
前年度	0	0	0	618	762	1,134	137	38	2,689	2,689

(3) 1日平均利用者数

	要 支 援		計	要 介 護					計	合計	稼働 日数
	1	2		1	2	3	4	5			
4月	0.00	0.00	0.00	2.35	3.12	2.35	0.35	0.35	8.50	8.50	26
5月	0.00	0.00	0.00	2.27	3.42	2.31	0.31	0.31	8.62	8.62	26
6月	0.00	0.00	0.00	2.15	2.54	2.62	0.35	0.15	7.81	7.81	26
7月	0.00	0.00	0.00	2.00	2.67	2.59	0.33	0.19	7.78	7.78	27
8月	0.00	0.00	0.00	2.04	2.96	2.54	0.35	0.15	8.04	8.04	26
9月	0.00	0.00	0.00	2.27	2.81	2.73	0.31	0.50	8.62	8.62	26

10月	0.00	0.00	0.00	2.23	2.92	2.50	0.31	0.31	8.27	8.27	26
11月	0.00	0.00	0.00	2.42	2.96	2.54	0.31	0.23	8.46	8.46	26
12月	0.00	0.00	0.00	2.44	2.93	2.15	0.30	0.19	8.00	8.00	27
1月	0.00	0.00	0.00	1.96	3.00	2.40	0.28	0.20	7.84	7.84	25
2月	0.00	0.33	0.33	1.63	3.58	1.79	0.29	0.17	7.46	7.79	24
3月	0.00	0.33	0.33	1.41	3.59	2.11	0.30	0.22	7.63	7.96	27
計	0.00	0.05	0.05	2.10	3.04	2.39	0.31	0.25	8.09	8.14	312
前年度	0.00	0.00	0.00	1.98	2.44	3.63	0.44	0.12	8.62	8.62	312

5 会議の状況

職員会議

開催日	議 題
4/6	・アクティビティについて ・前月実績に基づいた状況確認 ・前年度総括について ・コスト削減と業務改善について ・前年度事業実績について ・業務分掌について ・通所介護計画について
5/10	・前月実績に基づいた状況確認 ・前年度事業実績の報告 ・業務分掌について
6/4	・前月実績に基づいた状況確認 ・職員の休憩時間(業務改善)について ・アクティビティについて ・事例研究発表について
7/3	・前月実績に基づいた状況確認 ・新型コロナウイルス感染対応について ・事例研究発表について ・家族懇談会の反省について ・人事要望について
8/5	・前月実績に基づいた状況確認 ・業務改善について ・リハビリについて ・事例研究発表について
9/7	・前月実績に基づいた状況確認 ・新型コロナウイルス感染対応について ・事業計画の進捗状況について ・高額物品購入について
10/8	・前月実績に基づいた状況確認 ・事業計画の進捗状況について ・アクティビティについて ・リハビリについて ・事例研究発表について
11/10	・前月実績に基づいた状況確認 ・事業計画の進捗状況について ・家族懇談会について ・アクティビティについて
12/3	・前月実績に基づいた状況確認 ・次年度の物品購入について ・人事要望について ・家族懇談会の反省について ・お楽しみ会について
1/11	・前月実績に基づいた状況確認 ・利用者小正月行事について ・送迎マニュアルの見直しについて ・ヒヤリハット及び事故報告について
2/7	・前月実績に基づいた状況確認 ・第三者評価委員の評価対応について ・今年度事業総括について ・ヒヤリハット及び事故報告について
3/7	・前月実績に基づいた状況確認 ・次年度重点目標について ・今年度総括について ・アクティビティについて ・業務改善及び日課の見直し ・ヒヤリハット及び事故報告について

6 行事の状況

名 称	実施時期	実施内容
-----	------	------

華道教室	12/9	地域ボランティアの講師を依頼し、利用者と楽しむ
ドライブ	4/23、24、27 5/12、15 7/7、8 10/25、29、30	園芸活動用の苗及び必要物品の購入 季節の移り変わりを感じていただく 春のお花見や田植え、夏の深緑やあやめ公園 秋の稲刈りや紅葉狩りなど
夏祭り	8/6	特養と合同開催、出店での買い物や盆踊りを楽しむ
収穫祭	11/12	収穫したさつま芋や落花生などをおやつで食す
クリスマス忘年会	12/17	おやつクッキング、ゲーム大会など
新年小正月行事	1/18	みかんほっぴきなどを楽しむ

7 研修受け入れ

なし

8 運営推進会議

開催日	参加者	内 容
6/23	運営推進委員 4名	・デイサービスセンターぶなの園の活動内容について ・新型コロナウイルス感染対応について ・意見交換
12/21	運営推進委員 4名	・デイサービスセンターぶなの園の活動内容について ・新型コロナウイルス感染対応について ・どこシル伝言板について ・意見交換

○在宅福祉課共通

1 在宅リーダー会議

開催日	議 題
4/2	・令和2年度総括及び各事業所実績について ・業務分掌について ・コスト削減と業務改善について ・有給休暇取得希望時期の確認について ・第三者評価委員会会議開催について ・報酬改定に伴う重要事項説明書への同意
5/7	・令和2年度各事業所事業報告について ・コスト削減と業務改善について ・業務分掌について ・新型コロナウイルス感染対応について
6/2	・コスト削減と業務改善について ・家族懇談会開催について ・新型コロナウイルス感染対応について ・事例研究発表について ・自立支援ケアマネジメント研修会について ・デイぶな運営推進会議について
7/2	・理学療法士採用に伴う各事業所の対応について ・事例研究発表について ・新型コロナウイルス感染対応について ・家族懇談会の反省について ・デイぶな運営推進会議について
8/3	・新型コロナウイルス感染対応について ・第1四半期実績について ・第三者評価委員会について ・事例研究発表について
9/2	・新型コロナウイルス感染対応について ・事業計画の振り返りについて ・第三者評価委員会会議の実施について ・在宅福祉課報告会について
10/1	・事業計画の上半期振り返りについて ・新型コロナウイルス感染対応について ・第三者評価委員現場見学と会議日程について ・家族懇談会開催について

	・オンラインセミナーについて
11/1	・新型コロナウイルス感染対応について ・事業計画の進捗状況について ・在宅第三者評価委員会提供現場見学について ・在宅福祉課家族懇談会について ・課内研修会について
12/2	・新型コロナウイルス感染対応について・次年度物品購入と各種予算要望について ・在宅福祉課家族懇談会の反省について・次年度人事要望について ・課内研修について ・デイぶな運営推進会議開催について ・西和賀町介護保険事業集団指導について
1/6	・次年度予算要望と購入希望物品について ・次年度人事要望について ・第三者評価委員会議について ・次年度収入見込みについて ・感染症対応について ・次年度研修計画について ・デイぶな運営推進会議について
2/3	・第三者評価委員会議開催について ・次年度収入見込みについて ・感染症対応について ・次年度人事要望について ・次年度事業計画について ・今年度事業総括について ・感染症対応について ・年間実績集計について
3/3	・次年度事業計画策定について ・次年度法人各委員会委員の選任について ・今年度事業総括について ・在宅福祉課第三者委員の選任について ・新型コロナウイルス感染対応について ・次年度年間予定について ・次年度業務分掌について

2 第三者評価委員会

開催日	参加者	内 容
4/19	第三者委員 3名	・委嘱状交付 ・今年度活動計画について ・各事業所事故事例及び苦情等の概要報告 ・法人苦情解決委員の選任について
8/23	第三者委員 1名	・現場見学（通所、訪問同行）及びサービス実態調査
8/24	第三者委員 1名	・現場見学（通所、訪問同行）及びサービス実態調査
9/27	第三者委員 1名	・現場見学（通所、訪問同行）及びサービス実態調査
10/28	第三者委員 1名	・現場見学（通所、訪問同行）及びサービス実態調査
11/15	第三者委員 3名	・利用者聞き取り（訪問）調査の結果報告 ・サービス提供現場見学の評価報告 ・各事業所事故事例及び苦情の概要報告 ・高齢者虐待防止対応マニュアルについて ・今後の活動予定について
1/13	第三者委員 1名	・現場見学（通所）及びサービス実態調査
1/14	第三者委員 1名	・現場見学（通所）及びサービス実態調査
2/28	（第三者委員 4名）	新型コロナウイルス感染対応に伴う書面会議 ・利用者聞き取り（訪問）調査の結果報告 ・サービス提供現場見学の評価報告 ・各事業所事故事例及び苦情の概要報告 ・来年度の活動予定について

3 在宅福祉課家族懇談会

開催日	参加者	内 容
6/15	デイぶな利用者及び家族 ヘルパー利用者家族 計 9名	・各事業所より利用状況等の報告とお知らせ ・新型コロナウイルス感染対応について ・意見交換
11/25	デイぶな利用者家族 ヘルパー利用者家族 計 8名	・各事業所より利用状況等の報告とお知らせ ・高齢者虐待防止対応マニュアルについて ・意見交換

4 事故等の発生件数

(1) 事故報告書提出件数

	事 故 種 別		
	利用者宅での器物破損	受診を要する負傷等	その他
ヘルパー			車両事故 1件
デイぶな			
西 介			

(2) ヒヤリはっと報告書提出件数

	ヒヤリはっと種別					
	利用者の 服薬間違い	所持品 未確認	所持品 取り違い	転倒 (負傷無)	送迎名簿 記載漏れ	各種機器 動作未確認
ヘルパー	1件			1件		1件
デイぶな		3件	1件	4件		1件
西 介						

(3) 苦情受付状況

なし

第5章 高齢者生活福祉センター

○デイサービスセンターかたくりの園（指定通所介護事業）定員30名

デイサービスセンターかたくりの園（指定介護予防通所介護事業）含む

1 事業の総括

所長と生活相談員が異動により、新たに配置されたため、事業運営上支障がでないように、職員全員でカバーしてくれたことにより、通常運営できている。活動としては、ドライブで桜や紅葉を見ることはできたし、忘年会ではアトラクションとして外部団体を招くことができた。第三者評価委員の現場調査は、一回のみとなってしまうなど地域の目がない中で、職員の接遇について面談を行ない個々の取り組みを確認している。経営状況としても、慢性的な人員不足の中で、最大限の受け入れを行ってきているが、年間延べ利用者数は7,439人と前年度を71人上回るに留まっている。

2 重点目標

(1) 利用者に寄り添う（人権尊重・質の高い介護）

ア ヒヤリハットの入力方法等を変更する事により出しやすい環境整備はできたと思われる。また、事故についてはリーダー会議、ヒヤリハットについては介護サービス会議で検討されている流れがある。但し、ヒヤリハットの報告と対策の周知といった一連の流れが明確になっていない事と、パソコンに入力できる職員が固定されているので、全てのヒヤリハットが入力できているかという疑問が残る面もある。

イ 個別援助計画の確認を午後の申し送りの際に短時間で周知確認する予定していたが、なかなかできていないのが現状だ。担当者会議で情報などを伝えながら、利用者の体調の変化や嗜好などを尊重して対応している。

(2) 快適な環境づくり（安全・安心）

ア 感染対策に係る学習会等は食中毒の発生する時期に開催することができなかった。また、感染対策マニュアル等の見直しもできていない状況だ。しかし、新型コロナに係る対応については、本部会議での検討内容を積極的に周知した。災害対策については、消防計画を作成することで計画どおりに実施しているが、地域との連携については、新型コロナ禍のためとれていない。

イ バイタル測定は看護介護の協力の基、確実に行われている。利用者の体調管理により入浴を中止するなど対応はできている。精神的な気分の浮き沈みについても職員が寄り添い傾聴できている。

(3) 互いに支え合い（チーム介護・モチベーション・人材確保）

ア 今年度の研修は新型コロナの影響により、実施されていない。認知症介護基礎研修への申し込みは行われている。

イ 今年度休憩時間の取得に向けて事例研究で取り組んだ内容は、職員の意識の持ち方を変えるものだった。声がけという相手の事を思っている対応ができてきており現在も継続している。

(4) 地域と共に（共生社会・地域貢献）

ア 地域交流としてアトラクションなどの受け入れは、新型コロナの影響により行っていない。夏祭りでは職員ボランティアによる太鼓や模擬店運営、敬老会では保育所の活動の様子を動画で流すことにより、子供達の元気な姿を見せることができた。

イ 担当者会議への参加することで、他事業所やケアマネとの情報共有に取り組んでいる。また、ケアマネへの情報提供を行う事で、早期に家族とケアマネ及びかたくりの園が協力することも、少しではあるができてきている。

(5) 明日をつくる（社会参加と健全経営）

ア 時節の経過等、様々な変化によって、利用を中止するケースが上期後半に見られるようになってきた。新規利用者の受け入れについて、積極的には行っていなかったが、一日の利用実人数が減少したことにより、受け入れを積極的に行っている。包括や社協へも利用者が少ない曜日等の情報提供を行い、利用者増への取り組みを行っている。新規や追加への対応の際に、介護職員への確認方法に課題が残った。

イ 新型コロナの影響により、第三者評価委員による現場評価については、感染症の発生状況等を考慮し1回しか行う事ができなかった。外部からの目は職員の慣れを引き締めるいい機会となっていたが、そういった意識を職員が持つことで、業務の見直し等をする必要がある。

3 職員の状況

※（ ）兼務

	正規職員	臨時職員	パート	計	常勤換算
所長	(1)			(1)	(1.0)
生活相談員	(3)			(3)	1.4
介護職員	1 (1)		10 (1)	11 (2)	8.0
うち介護福祉士	1 (1)		3	4 (1)	4.0
看護職員	(1)		(1)	(2)	(1.5)
機能訓練指導員	(1)		(1)	(2)	(1.5)

4 利用者の状況

	実利用者数	延人数	開所日数	食事	一般浴	特浴	1日当たり利用者数
4月	95(36)	622(207)	26	614(207)	613(207)	37(0)	23.9(8.0)
5月	98(37)	633(193)	26	624(193)	626(193)	41(0)	24.3(7.4)
6月	101(37)	640(178)	26	631(178)	631(178)	39(0)	24.6(6.8)
7月	97(32)	658(180)	27	649(180)	649(177)	34(0)	24.4(6.7)
8月	94(30)	607(158)	26	596(158)	595(155)	27(0)	23.3(6.1)
9月	94(30)	628(162)	26	616(162)	614(157)	35(0)	24.2(6.2)
10月	94(31)	619(156)	26	602(153)	610(153)	35(0)	23.8(6.0)
11月	90(29)	599(174)	26	591(174)	595(174)	26(0)	23.0(6.7)
12月	89(30)	603(184)	27	593(182)	594(184)	26(0)	22.3(6.8)
1月	87(29)	574(155)	25	574(155)	563(155)	23(0)	23.0(6.2)
2月	87(29)	599(160)	24	587(160)	597(160)	24(0)	25.0(6.7)
3月	89(29)	657(185)	27	639(185)	652(185)	34(0)	24.3(6.9)
合計	1,115(379)	7,439(2,092)	312	7,316(2,087)	7,339(2,078)	381(0)	23.8(6.7)

前年度	1,154(477)	7,301(2,579)	312	7,168(2,579)	7,218(2,570)	585(0)	23.5(8.3)
-----	------------	--------------	-----	--------------	--------------	--------	-----------

※（ ）は総合事業〔これまでの要支援・事業対象者〕

5 会議の状況

(1) 職員会議

開催日	議 題
4/6	・リーダー会議等の報告事項 ・職員会議について ・委員会について
5/13	・リーダー会議等の報告事項 ・勤務体制について ・環境整備について
6/8	・リーダー会議等の報告事項 ・環境整備委員会活動報告 ・休憩時間について ・超過勤務について
7/13	・リーダー会議等の報告事項 ・環境整備委員会収支報告 ・緊急時対応について ・防災総合訓練について
8/10	・リーダー会議等の報告事項 ・夏祭りの反省について ・感染対策について
9/3	・リーダー会議の報告事項 ・敬老会事業について ・環境整備委員会活動について
10/14	・リーダー会議等の報告事項 ・感染対策学習会について ・環境整備委員会活動について
11/11	・リーダー会議等の報告事項 ・総合防災訓練について ・環境整備委員会活動報告について ・衛生委員会よりハラスメントの現状把握について
12/14	・リーダー会議等の報告事項 ・忘年会について
1/13	・リーダー会議等の報告事項 ・次年度活動計画（案）について ・次年度予算要求について
2/8	・リーダー会議等の報告事項 ・次年度役割分担について ・次年度計画の進め方について
3/10	・リーダー会議等の報告事項 ・次年度職員会議計画について ・重点目標の具体化について ・感染対策シミュレーションについて

(2) リーダー会議

開催日	議 題
4/2	・委員会及び担当について ・年間予定表について ・高額物品等の購入について
5/6	・重点目標の進め方について ・事例研究計画について
6/3	・重点目標の進め方について ・事例研究計画について ・業務改善について ・余暇活動について ・運行管理について ・感染対応について
7/6	・緊急マニュアルについて ・消防計画について ・夏まつり実施計画について ・事例研究発表会について ・余暇活動について ・重点目標の進め方について
8/2	・夏まつりについて ・事例研究発表会について ・敬老会について ・重点目標の進め方について
9/1	・敬老会について ・事例研究発表会について ・第三者評価委員会について ・重点目標の進め方について
10/6	・事例研究発表会について ・重点目標の上半期評価について

	・居住利用開始に向けて ・下半期購入物品について ・採用職員の今後の対応について
11/4	・消防計画について ・感染対策学習会について ・重点目標の今後の取り組みについて ・下期購入物品について
11/6	・重点目標の今後の取り組みについて
11/17	・重点目標の今後の取り組みについて
12/6	・利用者忘年会について ・次年度重点目標について ・次年度購入物品について
1/5	・事業計画の作成について・次年度購入物品について
2/4	・重点目標について ・予算要望書について

(3) 介護サービス会議

開催日	議 題
4/21	・行事の確認・ケース検討・アクティビティ委員会から・業務改善・その他
5/19	・行事の確認・ケース検討・アクティビティ委員会から・業務改善・その他
6/17	・行事の確認・ケース検討・アクティビティ委員会から・業務改善・その他
7/20	・行事の確認・ケース検討・アクティビティ委員会から・業務改善・その他
8/19	・行事の確認・ケース検討・アクティビティ委員会から・業務改善・その他
9/22	・行事の確認・ケース検討・アクティビティ委員会から・業務改善・その他
10/28	・行事の確認・ケース検討・アクティビティ委員会から・業務改善・その他
11/18	・行事の確認・ケース検討・アクティビティ委員会から・業務改善・その他
12/29	・行事の確認・ケース検討・アクティビティ委員会から・業務改善・その他
1/19	・行事の確認・ケース検討・アクティビティ委員会から・業務改善・その他
2/16	・行事の確認・ケース検討・アクティビティ委員会から・業務改善・その他
3/16	・行事の確認・ケース検討・アクティビティ委員会から・業務改善・その他

6 訪問ボランティア・研修受入

(1) 訪問ボランティア

月 日	地 区	ボランティア名	内 容	人 数
				0 人

(2) 研修受入

月 日	研 修 者	内 容	人 数
			0 人

7 第三者評価委員会の実施状況

開催日	参加者	内 容
4/16	6 名	委嘱状交付 報告事項 令和2年度活動報告について 協議事項

		令和3年度事業報告・人員配置について・活動計画について
5/21	中止	活動見学及びサービス実態調査
8/20	2名	活動見学及びサービス実態調査（昼食まで1名・おやつまで1名）
10/22	中止	活動見学及びサービス実態調査
2/18	書面	報告事項 令和3年度第三者評価委員会活動報告 令和3年度事故及びヒヤリハットについて 令和3年度苦情受付状況について 協議事項 令和4年度活動計画（案）について

8 行事の状況

名 称	実施時期	実施内容
さなぶり弁当	6/10～11	田植え終わりの豊作祈願
七夕行事食	7/7	そーめんて天の川をイメージ
かたくりの園 夏祭り	8/4～8/5	屋台や太鼓に合わせた盆踊りを楽しむ
敬老会（敬老会弁当）	9/13～14	保育所のDVD上映やお祝い品で敬老を祝う
忘年会（クリスマス弁当）	12/24～12/25	豪華弁当とアトラクションを楽しむ
書初め	1/2	利用者さんに今年の抱負などを書き初めに
七草粥	1/7	利用者さんと無病息災を願う
小正月ほっぴき	1/15	小正月に合わせてほっぴきを行い昔を懐かしむ
節分豆まき	2/2	利用者年女の方に豆まきで健康祈願
恵方巻	2/3	利用者に幸運が訪れることを願う
散らし寿司	3/3	春を迎えることを喜び健康で過ごすことを願う

9 家族懇談会

開催日	参加者	内容
		1年間の活動の様子を広報誌として作成し配布することで懇談会に変えるものとする

10 事故等の発生件数

(1) 事故報告書提出件数

	事 故 種 別	
0件		

(2) ヒヤリはっと報告書提出件数

	ヒヤリはっと種別等												
	つまづき	ふらつき	衣類にこぼす	転倒	座り込み	椅子以外に座る	連絡帳記入誤り	喉詰まり	入浴時足浮き	一人で降りる	温泉蛇口に近づく	ベッドロック忘れ	その他
58件	8件	5件	5件	4件	4件	4件	4件	3件	3件	3件	2件	2件	11件

11 苦情受付状況

相談の分類	苦情件数
	1件

○生活支援ハウス事業(受託事業)

1 事業の総括

令和3年度は、11月3日から最初の方が利用を開始し、翌1月に1名の方を最後に追加となり、定員の7名の方々にご利用いただいている。男性の方が2名、女性の方2名が新規利用者としてご利用になっている。徐々に生活に慣れていただくように努めている。

利用期間中は、新型コロナウイルス感染予防によるマスクの着用や他者との交流機会も少なく、また、面会者の密を避けるためにも予約制とし、来園時には体温や健康チェックなど感染予防に努めてきた。入居期間中は大きな事故もなく生活していただく事は出来た。近年は、介護認定を受けている方が多く常に職員の見守りが不可欠となってきたが、転倒等の事故もなく終えることができたことを評価したい。

2 重点目標の反省

- (1) 入居者の健康管理に対し、毎朝に宿直者が入居者の健康チェックを行うとともに、日中も職員による安否確認を実施することで、安心して日常生活ができるよう努めている。
- (2) 新型コロナウイルス感染予防として、入居者交流に向けて毎月1回実施してきていた入居者の会を中止している。そのため、生活援助員が毎月それぞれの居室に出向き居住者からの要望などに早急に対応できるよう支援できた。
- (3) 体調不良で入院された方が一名いましたが、他のサービスを利用している際の体調不良だったため、直接対応することはなかったが、ケアマネ等と連携をとり情報を収集している。
- (4) 施設活動に参加していただき、地域の方々との交流を目指していたが、新型コロナウイルス感染予防により活動を自粛しボランティアの受け入れを中止している。

3 職員の状況

	正規職員	臨時職員	パート	合計
生活援助員	1			1

4 入居者の状況

	実人数	延人数	1人当たりの利用日数	1ヶ月の開所した日数	1日あたりの利用人数	2人部屋の利用状況	2人部屋の利用人数
11月	3	56	19	30	1.9	2	2
12月	6	176	29	31	5.7	2	2
1月	7	211	30	31	6.8	2	2
2月	7	196	28	28	7.0	2	2
3月	7	208	30	31	6.7	2	2
4月	4	66	17	24	2.8		
合計	34	913	153	175	5.2	10	10
前年度	26	687	26	181	3.8	18	6

第6章 各委員会

1 各委員会総括

(1) 衛生委員会

【総括】

- ① 健康経営宣言事業所として登録2年目に入り、2021年健診結果から事業所の健康度が示された。受検職員中メタボ該当者においては14.7%と前年比2ポイント改善されたが、予備軍は23.5%と9.6ポイント増加した。特定保健指導該当者は7.5ポイント増の35.3%となっている。特定保健指導の対象者は5名であり指導参加者は1名。

この状況は、職員の高齢化によるところもあるが他の事業所と比較し運動習慣のある職員が半分と低く、筋力強化や生活習慣病予防の取り組みが課題となっている。

- ② 産業医の指導のもと、職員定期健康診断の実施に加えがん検診の充実を図った。

大腸がん、胃がん検診追加

受検者数 5・6月 定期健康診断＋腎機能検査 35人

生活習慣病健診(健保協会) 49人

12月 夜勤者定期健診 16人

調理職員の検便検査 毎月 10人

(12月・3月 ノロウイルス検査追加実施)

- ③ 委員会による施設の安全パトロールを定期に実施し、職場環境の保全に努めた。
- ④ 新型コロナ感染対応を含めた業務継続計画の策定にあたり、講師を招き「新型コロナ発生時の対応」について51名の参加によりリスク管理研修会を開催した。
- ⑤ 職員に対するストレスチェックの結果から、全国平均と比較してみれば、当法人職員のリスクが高い評価となった。ストレス解消の機会が少なく上司や同僚と話す(相談)機会も少ない状況となっている。

(2) 広報委員会

【総括】

- ① 年6回の発行を継続し、旬の話題を中心に紙面構成することができた。
- ② デイサービスぶなの園及びかたくりの園のコーナー等で、在宅サービスの情報発信にも努めた。
- ③ 例年掲載している行事の多くが中止となり記事の候補が乏しい時季もあったが、リハビリ機器導入、外国人技能実習生の様子など内容を工夫して構成した。
- ④ なかなか面会規制の解除ができない中、利用者の普段の表情や暮らしの様子をご家族及び地域の方々に紙面でお伝えできるよう意識して制作した。

【年間活動報告】

月	実施日	実施内容	備考
3.4月	14日(水)	第1回広報委員会 ・令和3年度活動方針、計画について ・第104号企画	委員5名 施設長

5 月		・ 第 104 号制作	
	15 日 (土)	・ 第 104 号発行	
	18 日 (火)	第 2 回広報委員会 ・ 第 105 号企画	委員 4 名 施設長
6 月		・ 第 105 号制作	
7 月	15 日 (木)	・ 第 105 号発行	
	27 日 (火)	第 3 回広報委員会 ・ 第 106 号企画	委員 3 名 施設長
8 月		・ 第 106 号制作	
9 月	15 日 (水)	・ 第 106 号発行	
	22 日 (水)	第 4 回広報委員会 ・ 第 107 号企画	委員 4 名 施設長
10 月		・ 第 107 号制作	
11 月	15 日 (月)	・ 第 107 号発行	
		・ 第 108 号企画	
12 月		・ 第 108 号制作	
4.1 月	25 日 (火)	・ 第 108 号発行	
	28 日 (金)	第 5 回広報委員会 ・ 第 109 号企画	委員 3 名
2 月		・ 第 109 号制作	
3 月	15 日 (火)	・ 第 109 号発行	
	17 日 (木)	第 6 回広報委員会 ・ 令和 3 年度総括について ・ 第 110 号企画	

(3) 防火管理委員会

【ぶなの園総括】

1 防災関係事業の重点

〈計画〉

- ① 消防署から指導内容を踏まえて、法人のマニュアル等と照らし合わせながら、より安全な避難誘導を目指しながら訓練を実施する。

【評価】

夏季における総合訓練では、日中に地震による火災と土砂災害を想定した訓練、秋季には、夜間における火災が発生した場合を想定し訓練を実施した。いずれも住民・利用者の安全を最優先に避難誘導を確認することが出来た。しかし、まだまだ実践に即した内容とまでは言えないことから、次年度においては体験を交えた訓練を実施したい。

- ② 年 1 回の夜間を想定した訓練と、火災・地震・土砂災害を含めた訓練を実施していく。

【評価】

秋季の総合訓練では、夜間を想定し訓練を実施している。夜勤体制での火災発生を想定し、宿直者や後から駆けつける職員の対応などを明確にしながら訓練を実施した。

- ③ 大雨等大規模災害に備え避難経路・避難場所の確保等具体的な訓練を地域の方々に参加

していただき実施する。

【評価】

残念ながら地域の方々の協力までは依頼出来なかったが、職員を地域の方々に設定し、現場での指揮の仕方について確認することが出来た。

2 年間事業報告

期 日	種 別	実 施 内 容	提出先 参加対象者等
4 月 16 日(金)	作 成	ぶなの園緊急連絡網 令和 4 年 1 月 24 日再作成	作成者：総務課長
5 月 28 日(金)	委 員 会	令和 2 年度実施状況総括の確認 令和 3 年度活動内容の確認 令和 3 年度消防署提出書類の確認	委員 4 名
6 月 14 日(月)	検 査	西和賀消防署危険物立入検査 西和賀消防書建物立入検査	危険物取扱責任者立会 防火管理者立会
6 月 17 日(木)	通報訓練	メール配信サービスによる災害発生 を想定した緊急連絡訓練	ぶなの園職員 58 名
6 月 25 日(金)	提 出	防災訓練計画書、防災組織図 区分別火元責任者	防火管理者が消防署に 提出
6 月 25 日(金)	委 員 会	建物立入検査について 総合訓練について ぶなの園消防設備学習会について	委員 6 名
7 月 14 日(水)	総合訓練	地震による土砂災害と火災を想定し た総合訓練	総勢 98 名 消防署立会あり
7 月 14 日(水)	学 習 会	消防設備学習会	職員 11 名
9 月 24 日(金)	委 員 会	夜間を想定した総合訓練について	委員 4 名
10 月 14 日(木)	総合訓練	夜間を想定した総合訓練 町から避難所設営備品の借用	総勢 91 名 消防署立会あり
11 月 19 日(金)	点 検	避難経路の確認 自主点検	防火管理者
12 月 10 日(金)	講 習 会	心肺蘇生法及び A E D の講習	職員 19 名 西和賀消防書で実施
1 月 21 日(金)	点 検	緊急時の器具等 自主点検	防火管理者
2 月 18 日(金)	委 員 会	今年度活動実施状況の確認 来年度方針と計画	

【かたくりの園総括】

今年度は防火管理者の変更が伴った事もあり、年度当初から消防関係書類整備を中心に行った。その中で「かたくりの園消防計画」を作成し、訓練の内容も見直す事とし、年 2 回の

総合訓練を行うこととした。7月の総合訓練には消防署の立ち合いを依頼し、「最終確認は部屋、トイレ等を限なく声がけして確認すること。余裕があれば避難した利用者の健康状態が悪くなった場合も併せて報告すること。本当に避難が必要な場合には、隣接する沢内バーデンとの協力体制を事前にとって置くこと」などの確認指導等がありました。11月の総合訓練は消防署の立ち合いを依頼せずに行った。居住のお部屋で非常ベルがどのくらい高く聞こえるのかも確認も行うことができた。また、毎日の日常点検と定期に行う定期点検も実施し計画に沿った対応を概ね行うことができた。

【防災訓練等実施状況】

期 日	種 別	実 施 内 容	提出先・参加対象者等
4月23日(金)	提 出	消防防災計画、防災組織図 火元責任者、防火管理者選任届	消防署
5月28日(金)	委 員 会	消防署提出書類の確認 次回訓練	所長
6月25日(金)	委 員 会	次回訓練	所長
7月1日(水)	提 出	消防計画作成届出書	消防署
7月8日(木)	提 出	訓練実施計画書	消防署
7月20日(火)	訓 練	通報訓練、避難訓練、消火訓練	利用者 27 名 職員 11 名
7月21日(水)	提 出	訓練実施結果報告書	消防署
7月30日(金)	点 検	法定点検	互光商事
8月24日(火)	点 検	定期点検	所長
10月28日(木)	点 検	定期点検	所長
11月1日(月)	提 出	訓練実施計画書	消防署
11月24日(水)	訓 練	通報訓練、避難訓練、消火訓練	利用者 27 名 職員 10 名
	提 出	訓練実施結果報告書	消防署
1月7日(金)	点 検	法定点検	互光商事
2月18日(金)	委 員 会	令和3年度総括	所長

※日常点検を毎日実施